



どうくん：

それは…

突然の出来事だつた…





僕の目の前には

新任の確か：

高崎先生といいう名前の

女性が立つていた：

どうくん…

さつきから

ちらちらと

日を合わせては：

どうくん

恥ずかしそうに

目を逸らす

どうくん

彼女：

…

初対面なのに…  
こんな近くで…顔を

見つめられるなんてことだ…  
まずないことだ…

…  
無理はない…か…  
恥ずかしがるのも  
どうくん…

つて……あれ……？

どうして僕：  
原崎先生と  
向かい合って  
るんだつけ……？

原崎先生：

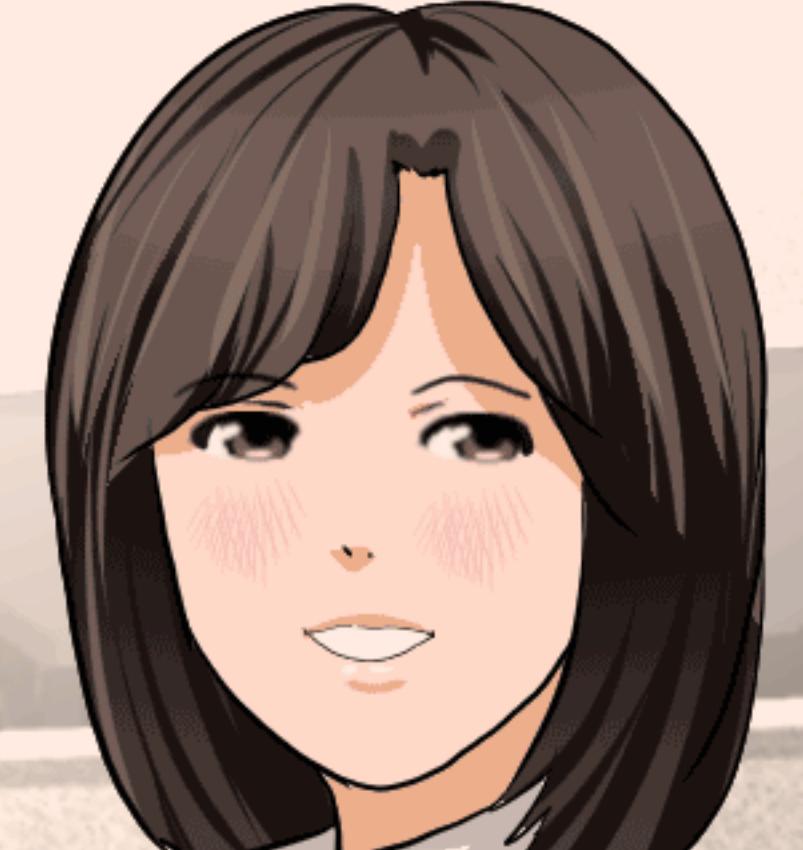
確か…杜戸先生の後任の  
先生として…最近  
学校に来ている…新任の先生

学校の男子の奴らが  
みんな色めき立つていただけど…

おい見たか？

後任の先生  
すっげー

可愛いよな



え…?

原崎先生

つていうんだつてさ

僕は話もしたことない

ほとんどの初対面…

それが…どうして…

こうして

向かい合ってるんだつけ…?

そして僕はさきほどから  
彼女にプライベートな質問を  
ぶつけている…

な…なるほど

え…じや…じやあ  
もしかして  
今までお付き合いを  
した男性は…?

…いません

えつ…?



あの…私の家…  
すごく厳しくて…  
中学高校…大学も  
ずっと女子校だつたし…

ほ…ほんとに…?  
も…モテそうなのに…

ほんとにお嬢様  
なんだ…

は…原崎先生…つて…

…

キスもしたこと…?

あ…あの  
じや…あ…  
き…キスは…?

あ……ありません……！

だ……だつて……  
男性とお付合いしたこと  
ない……から……

……あつ  
ごめんなさい……つ  
変なこと聞いて……

する」と耳元で…

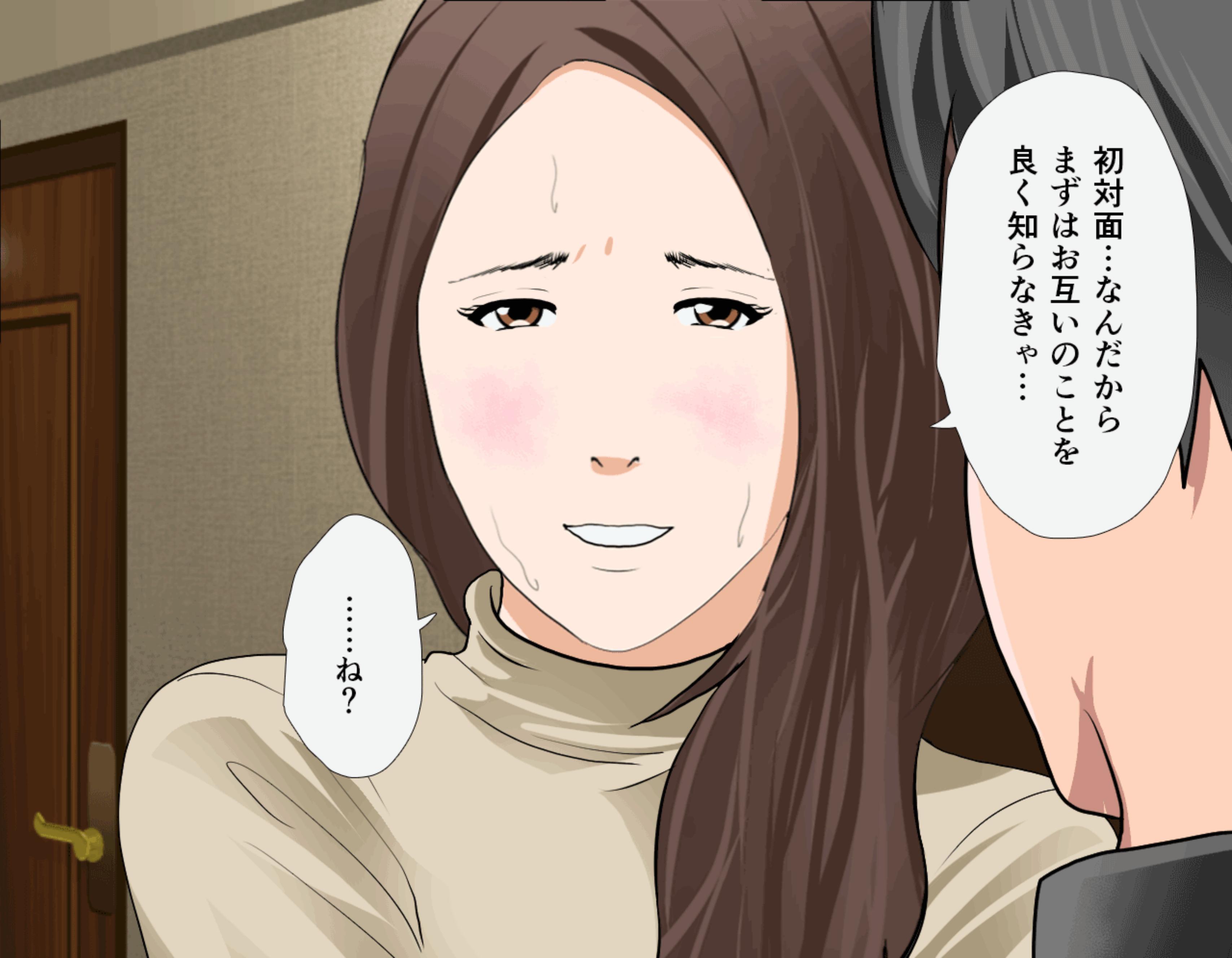
ふふ：

いいのよ…

どんどん聞いて…?

実はさつきから  
横にいる  
もう一人の女性が  
ささやく：

それを聞くのが  
今日の授業の  
最初のテーマだつて  
言つたでしょう



初対面…なんだから  
まずはお互いのことを  
良く知らなきや…

…  
ね？

そう……実はさつきから  
僕は……先生二人に囮まれて  
立つている……

正面に高崎先生……

横に杜戸先生が  
耳元でささやきながら  
身体を寄せていくる状態……



二人の女性の  
お化粧の匂いだらうか  
いい匂いに包まれてる

そして…右側からは  
密着した杜戸先生の身体の  
温かさが伝わってくる…

ほら…じゃあ  
指を出して…  
彼女の唇…  
触つてみて?

えつ…  
く…唇を…?

お…お互いのことによく

知るためには…

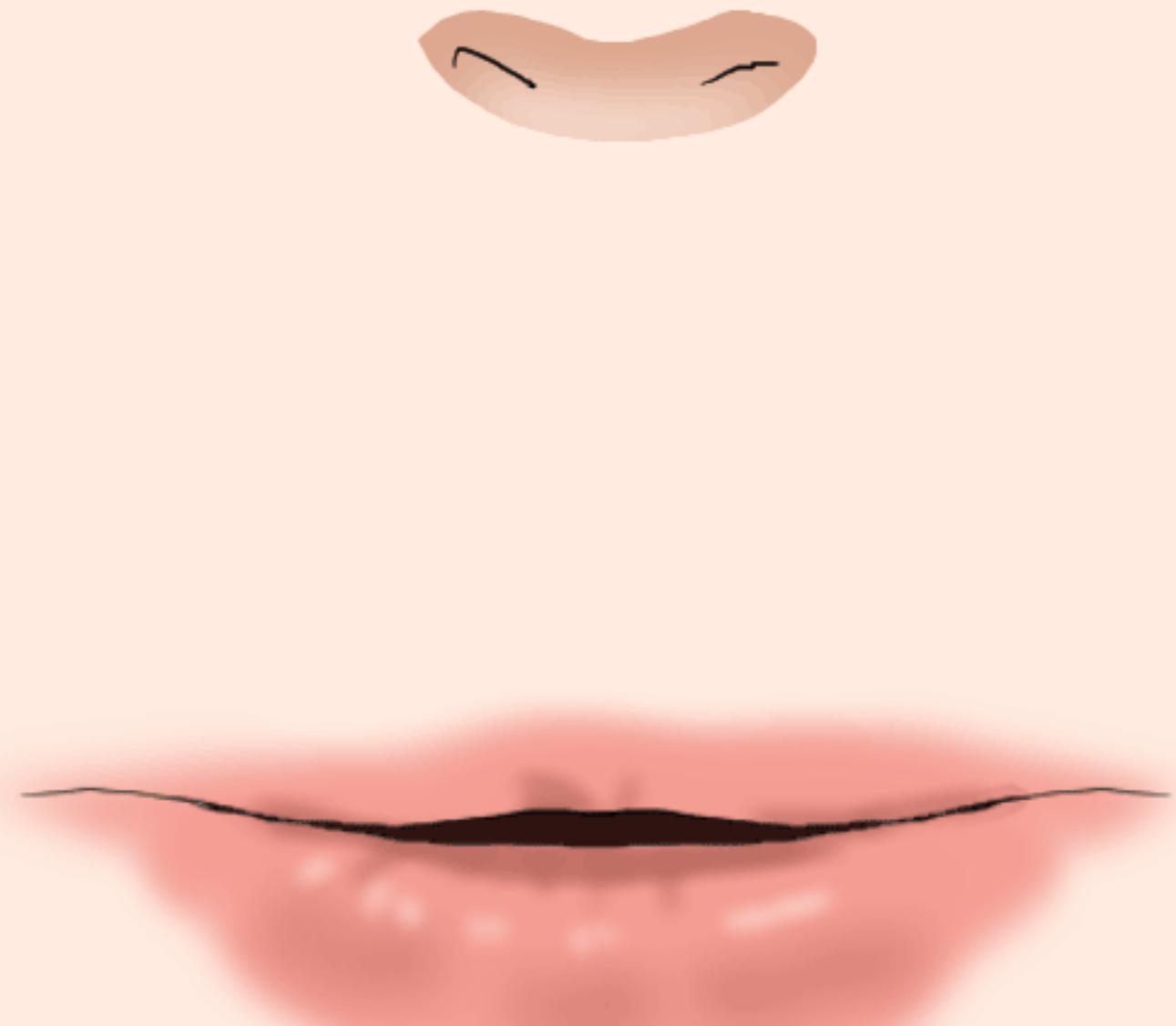
唇を触る…?

で…でも…

き…聞いたことがないぞ…

ほ・ほとんど  
唇  
初対面の女性の

とうふ



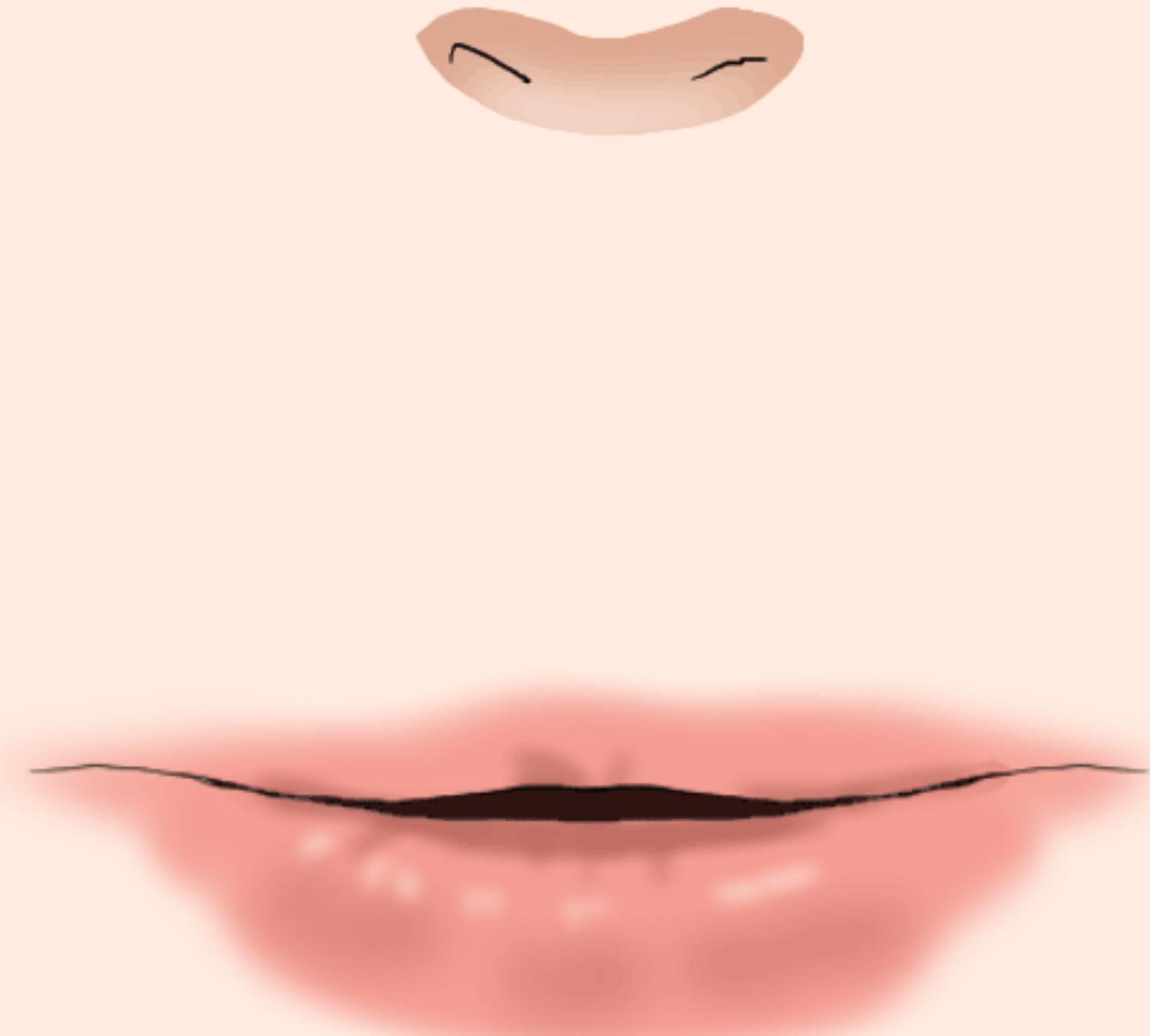
じつと見ることも…  
こんな間近で

さ…  
触つていいですか？



や  
柔  
ら  
か  
そ  
う  
だ  
な  
。

と  
う  
ん



や  
柔らかそうだな…

ふに…

どうぶん

どうぶん



う  
。。。

わ  
あ  
。。。

ふ  
に  
。。

と  
う  
く  
。。

と  
う  
く  
。。



なんだこれ…

どうん…

ふに…

どうん…

ふに…

やわらけえ…

ふにつとしめた張りもあつて…

いや…柔らかいだけじやなくして…

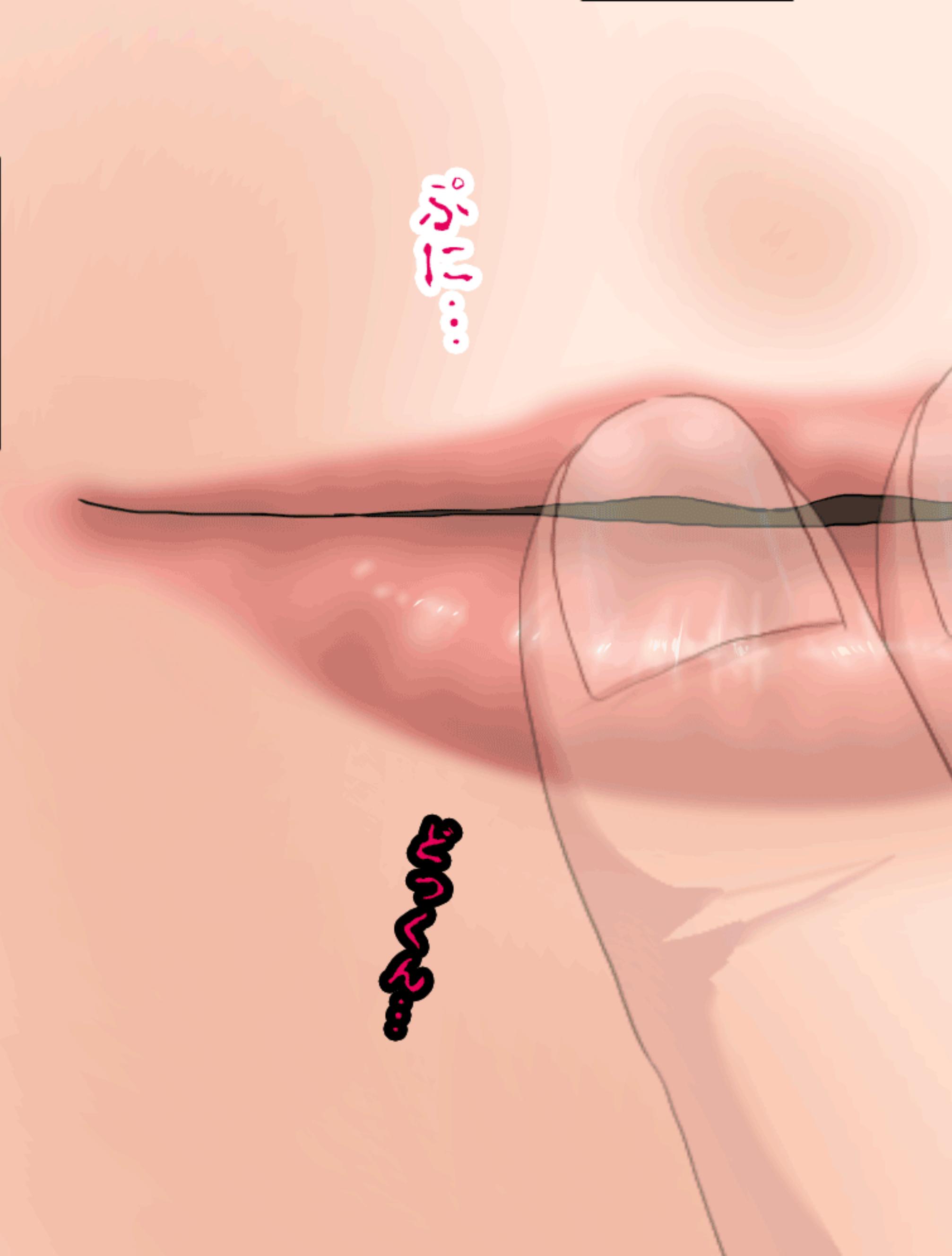
適度な弾力と

ふにつとしめた張りもあつて…

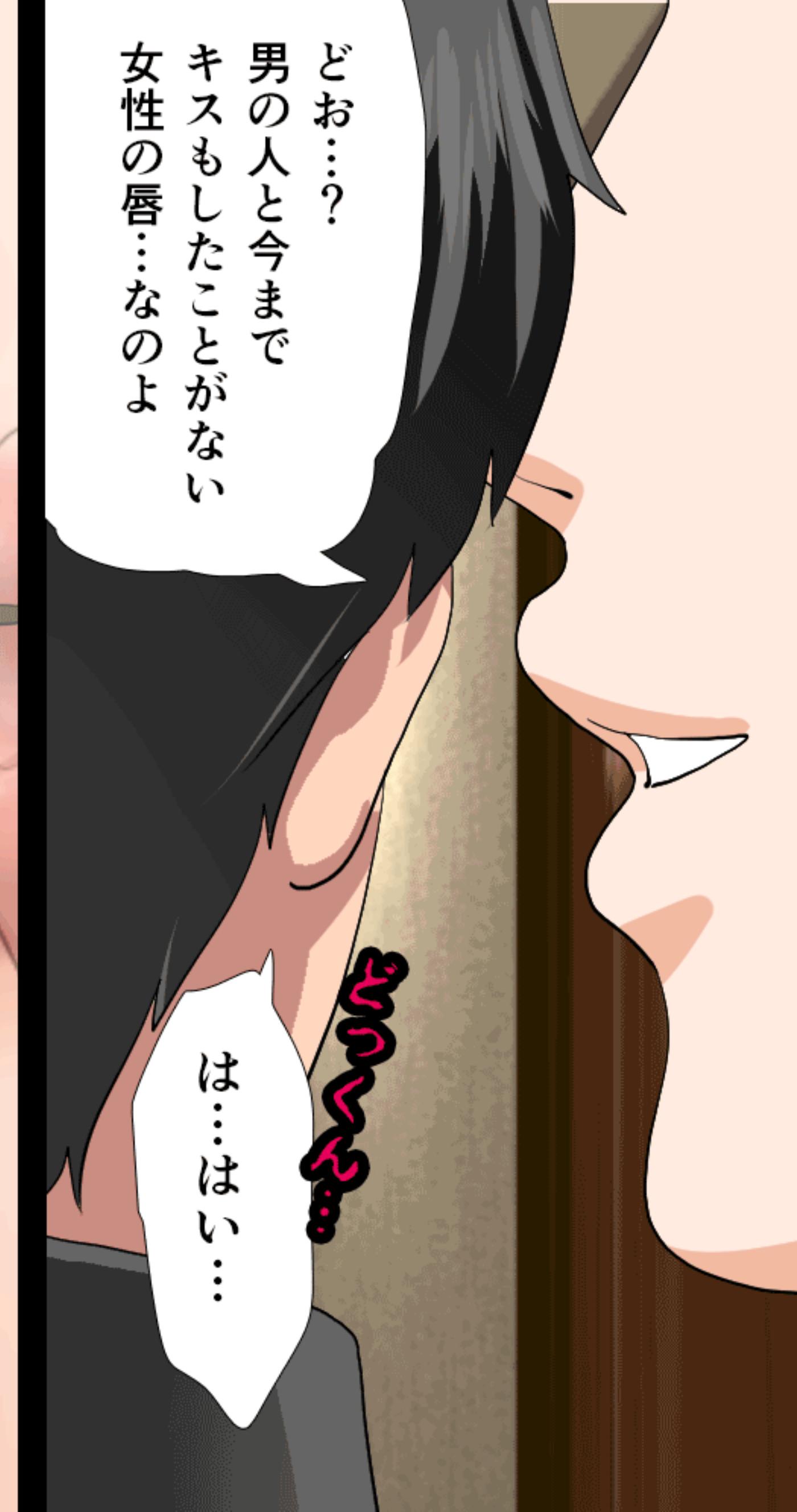
ふに…

ふに…

とう  
ん



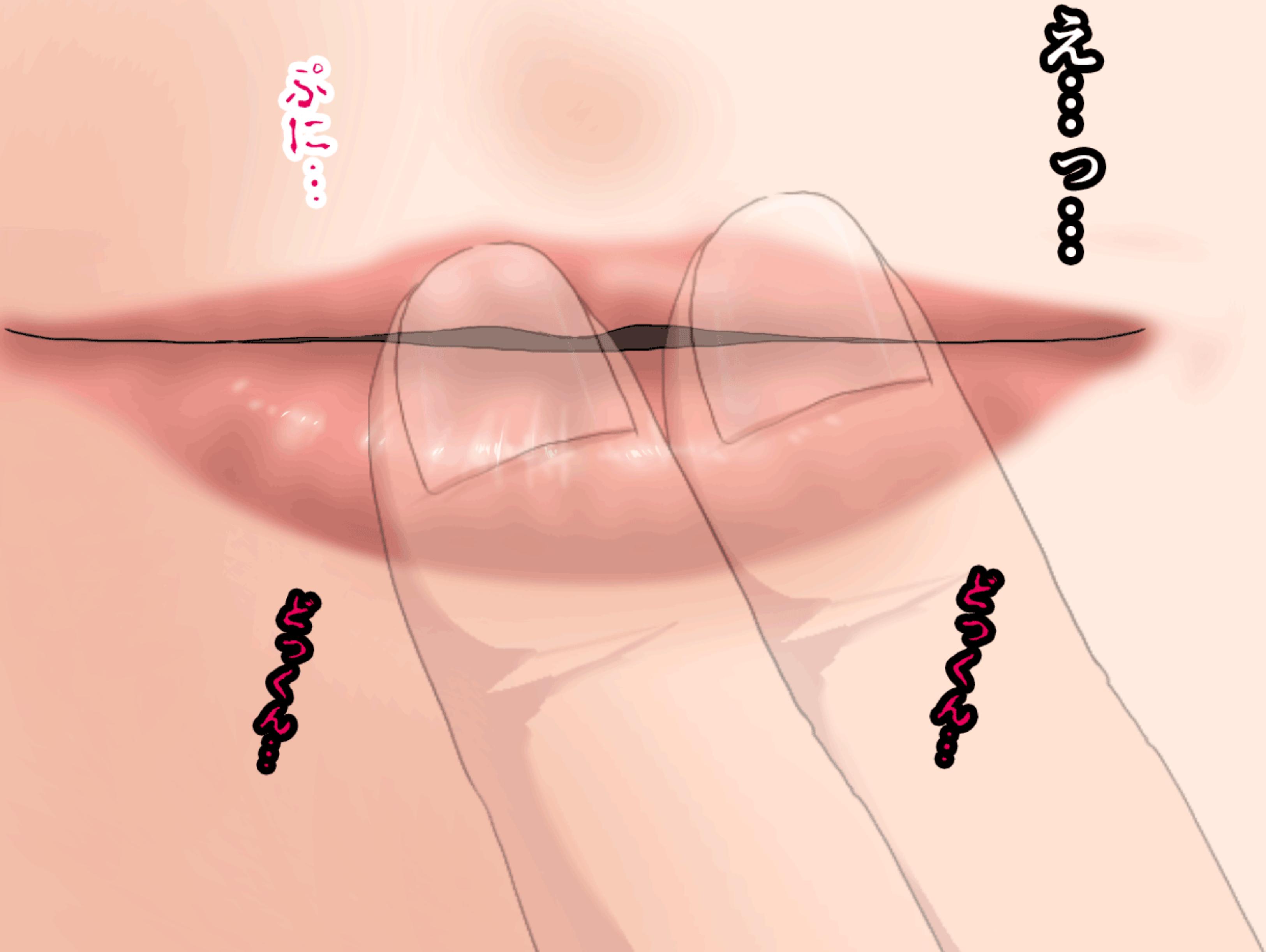
どお…?  
男の人と今まで  
キスもしたことがない  
女性の唇…なのよ



どう…ん…  
は…はい…

僕の隣にいる  
女性は耳元で  
さらによく続けた

この唇に：  
ファーストキスよりも  
先に：キミの：  
チンポを：くわえさせたくない…？



こ…この  
唇に…?  
ぼ…僕のチンポを…?

ふに…

どうも…  
どうも…  
そうよ…  
キスもしたことない  
処女の女性の  
唇で…

僕の耳元で…  
先生が…ささやく…

彼女の…唇で…  
あなたのチンポを  
たっぷり舐め舐め  
してもらつて…

どうくん

どうくん

ああ…あ

ひくんつ…

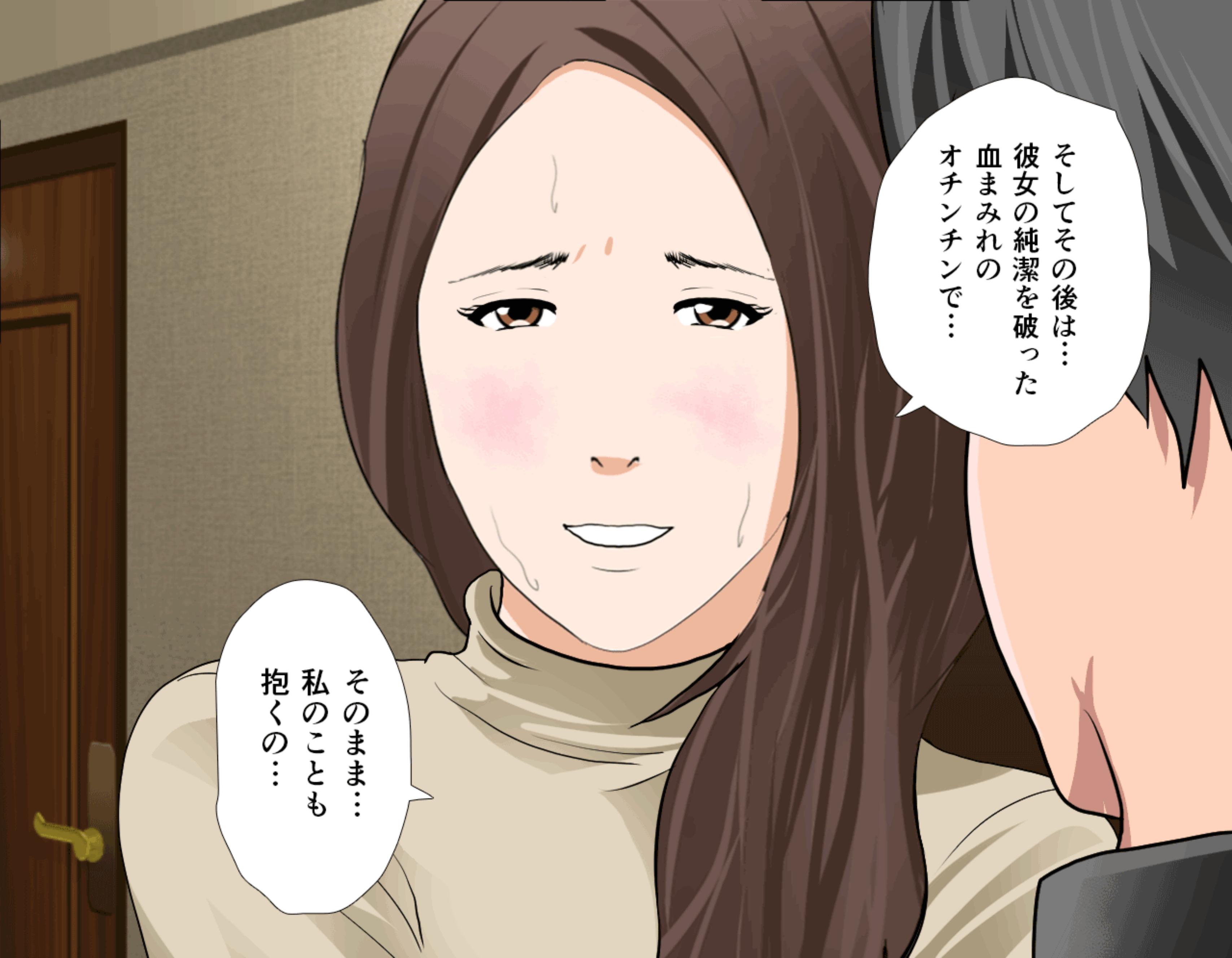
ひくんつ…

どうぶん…

どうぶん…

原崎先生の  
大切な大切な  
ファーストキス体験を…  
いっぱい汚しちゃつた  
あとは…

そのまま  
そのチンポで…  
彼女の処女膜も…  
貫いちやうの…



そしてその後は…  
彼女の純潔を破った  
血まみれの  
オチンチンで…

そのまま…  
私のことも  
抱くの…

そう:::

今日は確か:::

彼女の危険日:::

杜戸先生が  
最も妊娠しやすい時期だからと  
喜び勇んでやつてきただははずだつた

わ…私も  
し…紫藤先生も  
…その体験は  
さ…させてあげられ  
なかつたでしょ…?

そ…それが  
いつの間にか  
こんな事態に…!

ち…チンポで  
処女膜を破る…  
体験を…

は：原崎先生には  
教えなきやいけないことも  
あるし：い：一石二鳥だわ

…

本筋の  
「妊娠授業」も  
並行して行つて  
いくから  
がんばって！

では  
今日はこれから  
3人で：  
課外授業を  
行いましょう

そう：これが  
僕の身に突然起こつた

どっくん：

事態：

どっくん：

どつくん：

そして：  
もう次の授業は  
始まっているのだと：

僕はその時  
気づいたんだ

どつくん：

唯乐教育

# 第七話 「最終授業：妊娠Ⅱ」

## ～課外授業アリ～



なつたんだつけ…?  
どうしてこんなことに  
一  
体

僕が訪れる 数分前…



まさぶみさん…  
紹介するわ



私の後：  
クラスを受け持つてくれる  
原崎先生と：

初めまして  
紫藤です：

おじゃまします

同僚の  
紫藤先生…よ…



わずか数分前には…  
リビングでこんな会話が  
繰り広げられていたのだろう…と思う

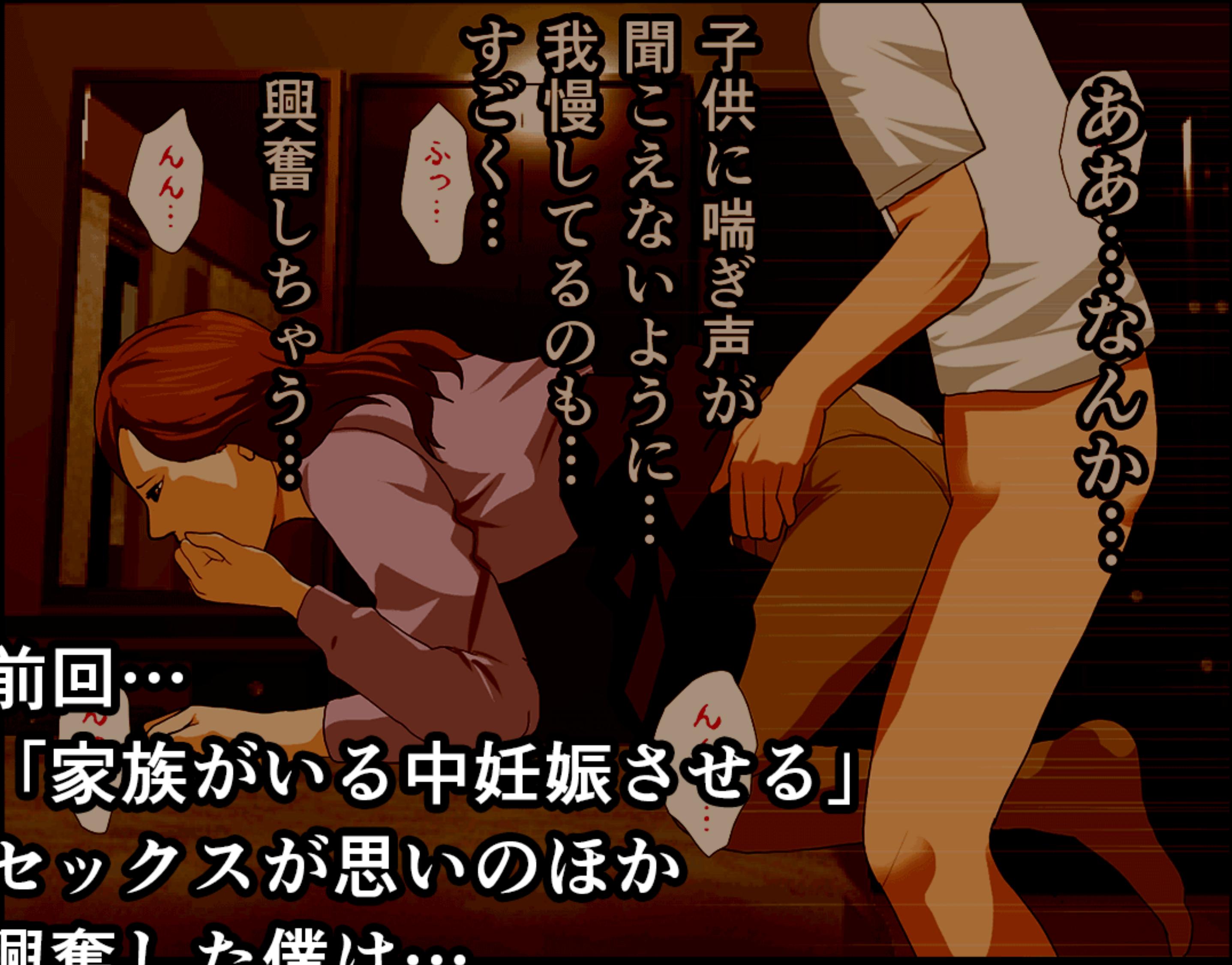
# なにせ…今日は紫藤先生の 妊娠しやすい「危険日」で…

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

とつ  
くん

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

とつ  
くん



前回…

「家族がいる中妊娠させる」  
セックスが思いのほか  
興奮した僕は…

んん…

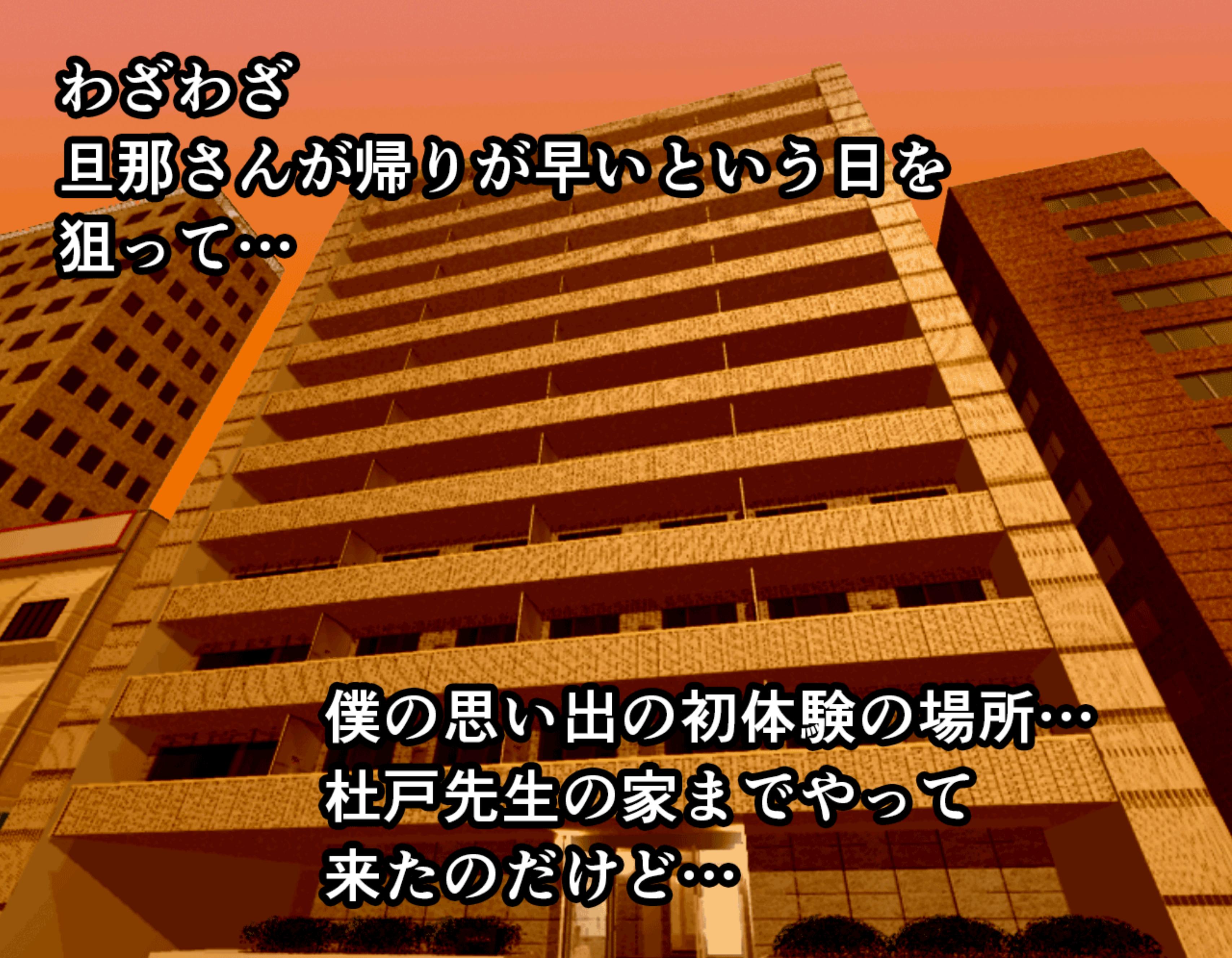
興奮しちゃう…

ふつ…

子供に喘ぎ声が  
聞こえないようにな  
すごく…  
我慢しててるのも…  
…

ん

ああ…なんか…



わざわざ  
旦那さんが帰りが早いという日を  
狙って…

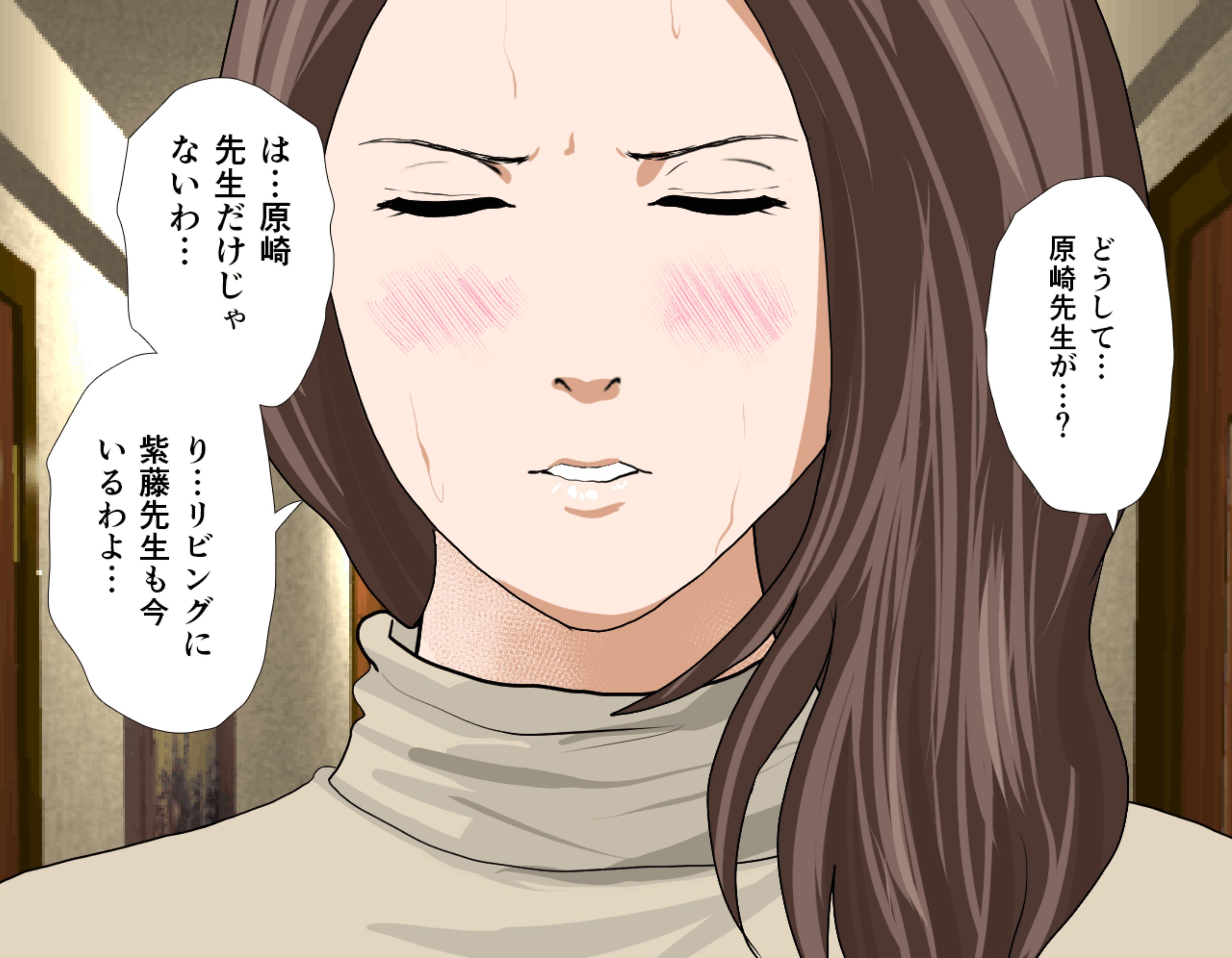
僕の思い出の初体験の場所…  
杜戸先生の家までやって  
来たのだけど…

が  
チ  
ヤ  
:

え  
つ  
…  
?



扉を開けると  
なんと原崎先生もいたのだ…



どうして：  
原崎先生が…？

は：原崎  
先生だけじゃ  
ないわ：

り：リビングに  
紫藤先生も今  
いるわよ：



原崎先生にも

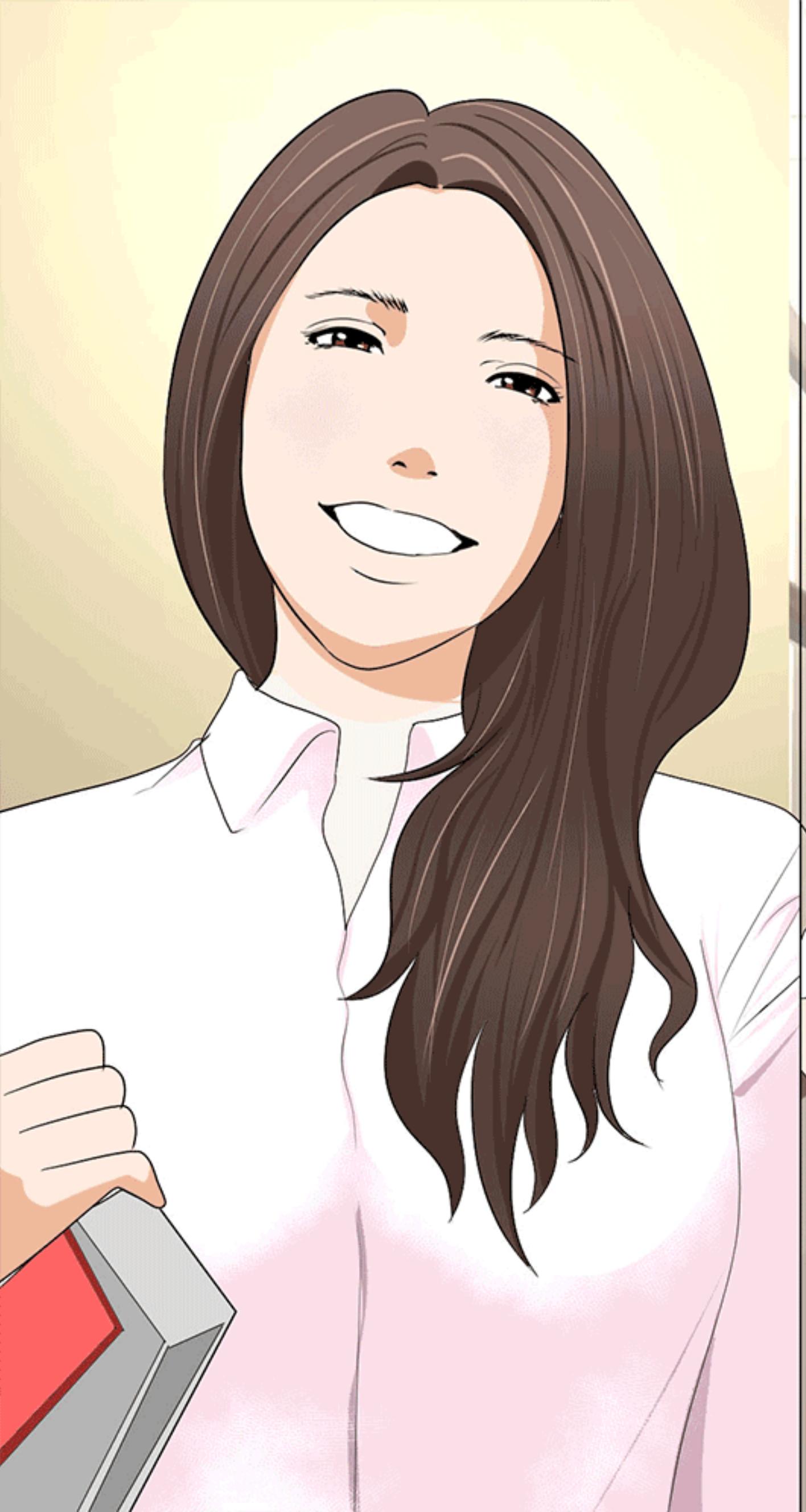
驚いたけど…それより…

その時の先生の顔が  
すごく怖い顔をしていたのにも  
びっくりした…

先生が催眠にかかるつてから  
時折見せる僕に対する  
敵意のような表情

多分これから起こることに  
対して抵抗したいと試みて  
いるんだろうけど…

誰に 대해서も  
分け隔てなく  
笑顔を振りまいていた  
あの杜戸先生が



僕に 対してだけ 向ける…

むき出しの感情…

それはそれで…

ゾクゾクする気持ちを

感じながら…

僕は今日…

杜戸先生とぜひとも  
やりたいことがあつた…

少し躊躇したが  
そのことを…伝える…

「今日は先生と…  
『恋人のようにならせて』…」

# 先生とは…前回

この家でした時も…

そ…そんなの  
しません！

：お昼の時も  
言つたでしょ…

これはあくまで  
あなたにセックスを  
覚えてもらうための  
授業なの

あなたの恋人に  
なつたわけじや  
ないんだから…

つて…断られて…

何度も  
言つたでしょ：

これはあくまで  
あなたにセックスを  
覚えてもらうための  
授業：

あなたの恋人に  
なつたわけじ  
ないんだから

**かたくなに**  
**恋人同士のよう**  
**なること**  
**を断られた：**

だからこそ…  
今日はこそこそ…

…と、原崎先生が  
いるのにも構わはず…

今日は危険日：  
先生を孕ませるのに：  
せっかくなら先生と  
恋人みたいにしたいなって  
思つて：

いいでしょ…?  
これも「勉強」だと  
思うんです！

「恋人同士のようにする」

それは…杜戸先生が  
許してくれなかつた  
こと…

今まで通りなら  
断られるところ…

その申し出を聞いて

先生の顔は

より一層険しく……なつたけど……

あ……あなた……  
一体……なんて……  
こと……を……

ぐ……ぐぐつ……！

想定内！  
そんなことは

だが……今日は  
自信があつたのだ……！

今まで散々  
色んな事を経験して  
学んで：

どつくん：

発見した  
一つのルール：

彼女たちは  
僕に「教育」を  
するようには  
暗示をかけられていて

そんなに望むなら  
彼女たちの  
「性教育」：  
受けてみるか？？

だから「教育のために」という大義があれば  
彼女たちは暗示によつて  
逆らえないので……！

「どうお願ひすれば  
先生は断れないと」

だんだん  
僕もわかつてきただんだ：

あ…あの…  
一体何の  
話を…

ぐつ…！

この催眠下での  
ルールの扱いに：

杜戸先生は……いつものように  
しばらく暗示の力に  
抵抗していったようだつたけど

ぐ…ううう…  
ああ…あ…

わ…わかった…わ…

そこまで言うなら…  
さ…させてあげるわ…  
こ…恋人同士のような…

…?

きよ…今日一日…

私はあなたの  
恋人…に…  
なつてあげる…

どつくん…

どつくん…



やつた！

ついに憧れの杜戸先生と…

恋人みたいな

セックスができる！

しかも今  
リビングには日那さんも  
いるだつて…？

てことは…計画通り  
日那さんがいるのに  
恋人みたいなセックスを…！



んつ……

紫藤先生の時みたいに……

あつ……あ……

家族に隠れて

ねつとりたつふり

種付けセックスを……き……

でるう……

んんつ……

ドクドクツツツツツツツツ

ああ……

考えただけでも  
ドキドキする!

どくん……

しかし…

この後一つだけ  
想定外のことがけ  
起こつたのだつた…！



あ…あの…

ひ：一つだけ：  
いいかしら…！



原崎…せんせ…？

い…今の話  
き…聞いてた  
で…しょ…？



え…は…はい  
あの…でも…!

しょ…正直  
一体何の話を  
してるのか  
わからなくて…

そ……そ……うだ……!

最初から気になつていた  
どうして…彼女が

ここにいるんだ…?

彼がそうなの…

前に言つてたでしょ  
性教育をしている  
男子生徒がいるつて…

いい機会だから：  
今日は彼の性教育に  
関して：引継ぎの  
説明もします：

あなたも：  
今日一日は彼の  
**「恋人」**として  
彼の**「お相手」**を  
しましようか：

えつ…！

彼と今日一日  
恋人に：

え……でも  
そ……それって  
まさか……

あなた…男性と

つきあつたことがない…

処女…だつたわね…

ちょうどよかつたわ

じゃあ今日

彼のチンポで

しょ…処女も卒業させて  
もらいましょう

うう…ぐぐ…

…!

言つてるんだと？

な…なにを

そういえば  
彼にまだ  
ヴァージンセックスを  
経験させて  
あげられてなかつたから  
いい機会だと思うの

どのみち：  
処女で彼の  
性教育は  
務まらないんだし

あ…あああ…  
あの…あのつ…

で…でもそれって…！  
だつて…わ…私には  
付き合い始めたばかりの  
か…彼が…！



あら：  
そんなんの  
関係ないわ…

恋人がいようが  
夫がいようが：  
彼の性教育のためならば  
セックスでもなんでも  
する…それが私たちの  
役目…でしょ…？

彼の性教育のため：  
よ…？

今日一日：

私と二人：彼の  
恋人になつて：  
彼に：あなたの処女膜を  
**破る感覚を：**  
教えてあげ…て…？

うう…ぐぐ…

…！

これって…

うう…あ…

う…

ま・ま・まさか…



彼女も…なの  
のか?

杜戸先生…と…

紫藤先生に続いて…

彼女も…?



彼女は：

しばらく身を強張らせて  
何かに苦しんでいたようだつた

それはそうだ…

こんな異常な事態：

「普通なら」従うわけない…

しかし…



しばらく  
苦しんだ後…

日から生気が  
失われていいくのが  
僕の目にも見て取れた…

間違いない…

彼女も…

他の二人と同じ…

今日一日…私は  
彼の…恋人になり…  
ま…す…

…つ

わ…わかりました…

う…

そ…そして…  
彼に処女膜を  
破る感覺を…  
教育…します…

わ…私の…  
大事にしてきた…  
処女…膜で…

そ…そんなん…っ

ほ…ほとんど初対面だぞ…?

名前も苗字しか知らない

くらいの女性を

一日恋人として…?



あの男…

男は言つた…

そんなに望むなら  
彼女たちの  
「性教育」：  
受けてみるか？

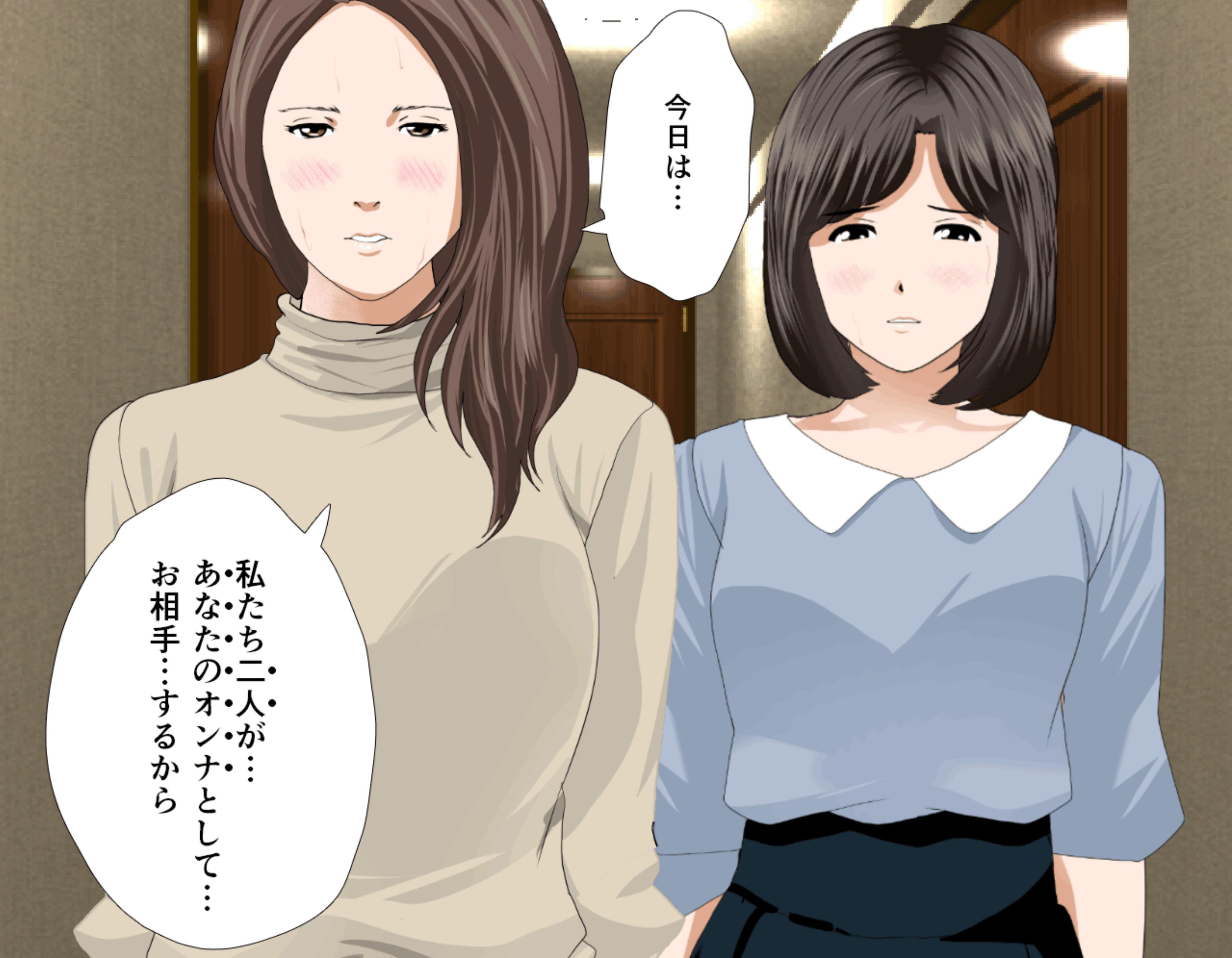
— 体どこまで…！





：：聞いたでしょ？

異論は：  
ないわね：  
：あなたも



今日は…

あ・私・た・ち・二・人・が・  
あ・な・た・の・オ・ン・ナ・と・し・て・  
お・相・手・…・す・る・か・ら



あ：あと：  
私が今日  
危険日だということも  
忘れないでね：

中出し射精は：  
全部私の膣に：  
お願ひ：ね

催眠  
教育



ね…?  
すごく柔らかくて  
魅力的な唇…

だつたでしょう?

ふに…

まだ誰とも  
キスすらしていない…  
彼女の唇…

どうん

どうん

…と…いうわけで  
こうして僕は今…

原崎先生の目の前に  
立つている

どうくん…

どうくん…



で…でもほんとに  
こんな彼女の唇で…  
ファーストキスよりも先に…

あ…あの…  
確かさつき  
「付き合い始めた  
ばかりの彼」が  
いるって…



え…ええ…

最近：初めて…  
お付合いする  
男性ができた  
ばかりで…

ええ…  
そ…それつて…

じゃあそろそろ：  
彼女のおっぱいでも…  
揉んでみましょ…

高崎先生：

酷なようですが  
本当の彼氏のことは  
今はもう忘れなさい…

今日のあなたの  
恋人は…目の前の  
「彼」よ…！

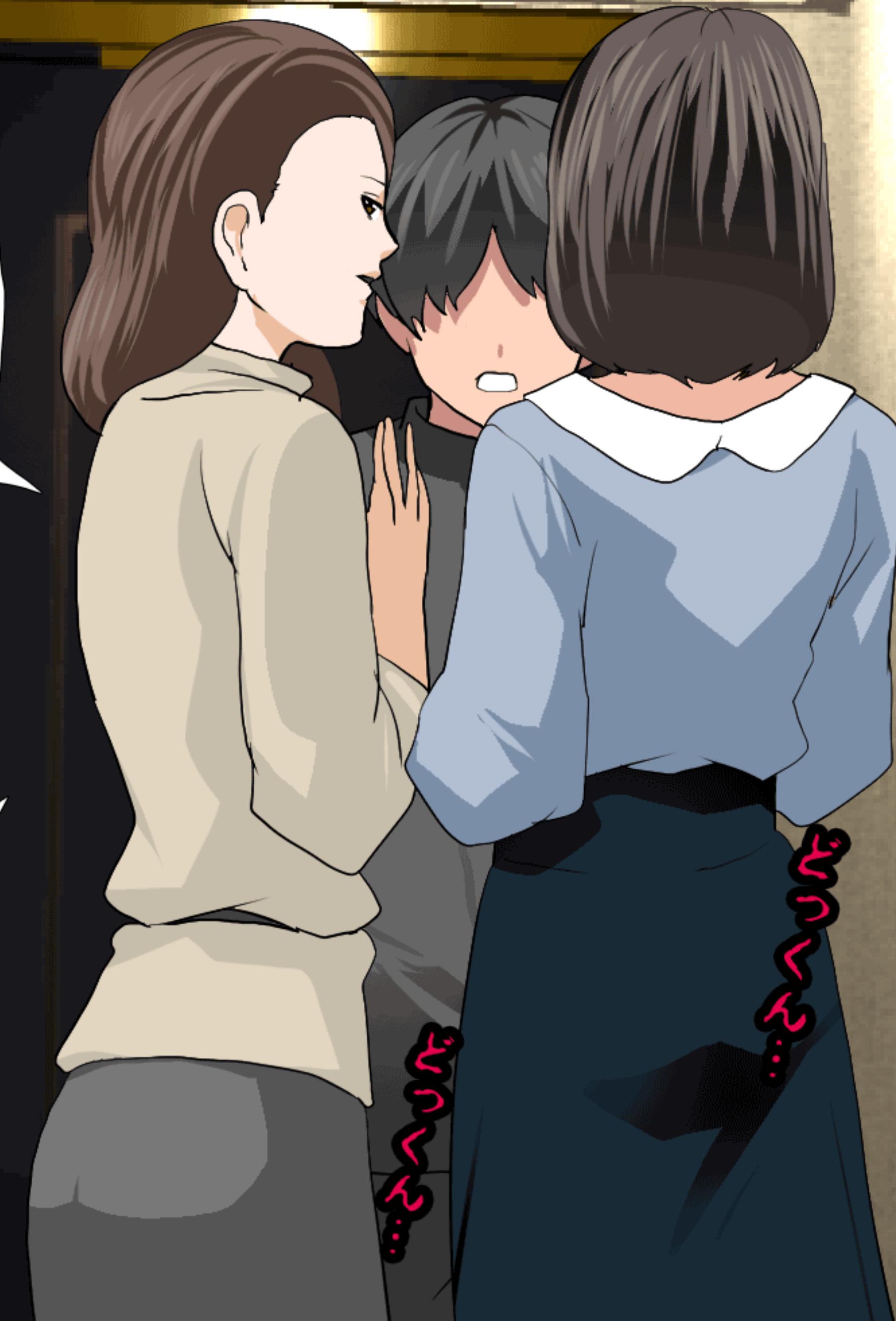
どつ  
くん

どつ  
くん

…！

そして彼が性的に  
より興奮して：  
満足してもらえるように  
してあげるのが  
私たちの役目よ…

私たちは今日  
二人係で  
彼の望む通りの  
恋人にならなければ  
ならないの…



…!

せ…先生…

杜戸先生自身が…  
顔を苦痛に歪ませながら…  
言葉を続ける…

どうくん

わ…私だつて  
本当はつらいわ…  
だつて今あの扉の向こうに  
こ…婚約者がいるんです  
もの…

でも…私たち  
きよ…教育者として…  
やらなきや…

大丈夫……！  
わ：私も一緒に  
裏切るから……！

あ……あなたの o 手本に  
な……なるから：  
が……頑張りましょ う！

どつ  
く ん

！

「私も一緒に裏切るから…」

どっくん：

ああ…なんてこと  
言つてるんだ…先生…

どっくん：

杜戸先生の言葉を受けて…  
彼女も顔を歪ませて  
何かと葛藤していった様子を  
見せたが…

どうぐん…

…

やがて…

諦めたかのよう…

どうへん…

どうへん…

ゆつくりと  
手を下げ…

やがて…

諦めたかのよう…

どうへん…

どうへん…

ゆつくりと  
手を下げ…

い…いいよ…

どっく  
ん…

どっく  
ん…

さ…触つて…?

…つ…!

か…確証はないけど  
どうやら彼女たちは

暗示によつて

…の…か?  
「連の行為を  
「本当の授業」だと  
認識してしまつている



だ…だから彼女たちの

教育に対する熱意がそのまま…

どっくん…

暗示を実行する

根拠になつちやつてんだ…

で…でも…!

い：いいのかな…？

お：おっぱい触るくらい

今までしてきたことには  
比べたらなんでもないこと

だけど：

どうくん…

…っ…！

…

か：彼女たちが

きよ：教育熱心であることに

かこつけて：

こんな…

どっくん…

どっくん…

ほ・ほ・ほとんど  
今日会つたばかりで…

どっくん…

しかも…人生で  
初の彼氏ができたばかりの

女性の…胸…

どっくん…

し…失礼…  
しま…す…

…つ…！

な…なんか  
すつごいイケナイこと  
してると氣分が…

むきゅつ・・・

あつ・・・!

…たつ…!

ご…ごめんなさいっ  
つ…つい強く…!

どつぐん…

あ……あれ……？

ち……小さい……？

しち……此紫藤先生や杜戸先生の  
おつぱいと同じ気持ちで  
掴もうとしたら……  
どうくん……

ああ……！

いつももの感覚よりも

小さかつたんで…

つい掴んじやつたんだ…

どっくん…

あつ…

ももつと

や…やさしく…

揉まなきや…

あつ…

どっくん…

ほら：  
片方だけじやなくて…  
両方一緒に  
揉んであげて…?

は…はい…

や  
あ  
す  
ご  
り  
や

ん  
ん  
ん

む  
に  
つ  
。

や  
あ  
。

ふ  
に  
つ  
。

ど  
う  
ん  
。

ど  
う  
ん  
。

改めて  
考えてしま...う...

あとの女性とは  
さつきほぼ初めて出会つて...  
言葉を交わしただけ...  
なんだよな...と

その女性のおっぱいを揉んでいる…

あつ…

揉んでいる…なんて  
鷺掴みにして…

どっくん…

どっくん…

あつ…やつ…

ぷに…

むぎゅつ…

どっくん…

ああ…あつ…

やあ……あ……

あつ……ん！

ぷに…

むぎゅつ…

どっくん…

どっくん…

確かに……紫藤先生とかに

比べると……小ぶりかな……

や…  
あ…つ

ふにつ…

どうん…

むにつ…

ん…ん

あいや…でもきつと  
あの二人が  
大きいだけで…

服の上からだけど…

ブラの感触がわかる…

や…っ

ふにつ…

どうん…

むにつ…

ん…ん

この感じ…  
多分りボンとかついてる  
可愛らしいブラじやないかな

杜戸先生たちとは…  
また違うタイプの  
女性…  
また一人僕の  
性教育の授業に…

あつ…やつ…

どっくん…  
どっくん…

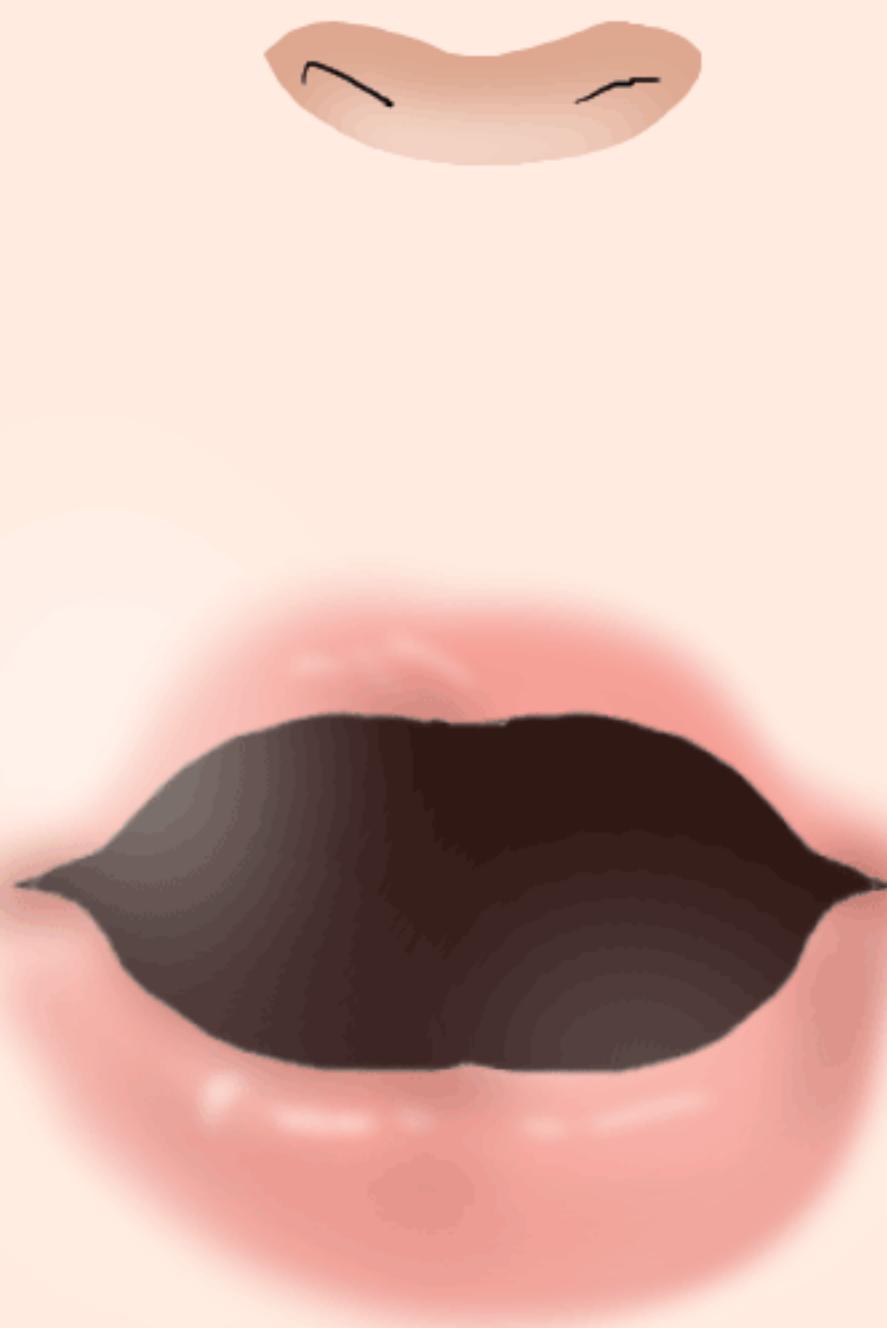
さつき間近でみた

可愛らしう唇から…

うつすらだけど

吐息が漏れてる…

や…あ…っ



ああ…

人生で初めて男性に  
おっぱい揉まれてる…

彼氏より先に：

揉まれて：

他の男性におつぱい

おつぱい

どっくん  
どっくん

あつ…やつ…

生まれて初めての

気持ちよさを

味わつてるの…?

い……いいのかな…?

ほ……ほんとに…:

どうぐん…

どうぐん…

ああ…  
すごい…

興奮してきちゃう…!

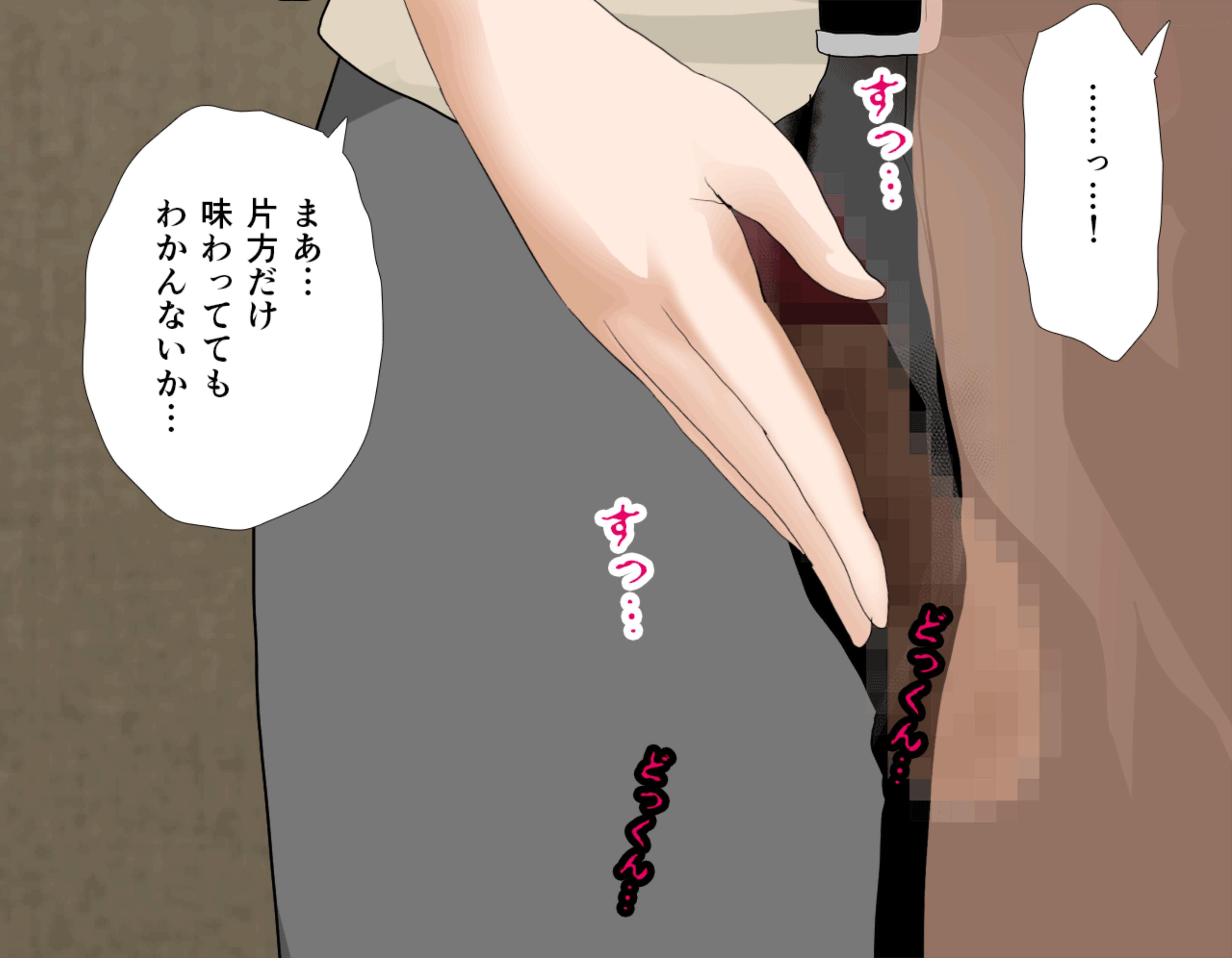
……つ…!

ねえ…どう…?

私たちのおっぱいと  
比べて：  
彼女のおっぱいは…?

あ…あの…  
…つ…

どっくん…  
どっくん…



まあ：  
片方だけ  
味わつても  
わかんないか…

す  
す  
す

ど  
ど  
ど

す  
す  
す

ど  
ど  
ど

…  
…  
…！

じゃあ：

私のおっぱいも  
揉んで：

二人のおっぱいを  
揉み比べしてみる？

……!!

ほ  
ら  
…



好きなように  
触つて…?

私たちのおっぱい…  
あなたの  
思うがままよ…?

わあ

どつぶん…

すごい…

このおっぱいも…

どうくん…

なんだ…  
僕のおもうがまま…  
このおっぱいも

ほら…何してるの…?

早く触つて…  
揉み比べ…して?

…!!

高崎先生も

何してるので…?

そ…:

そんな…:

彼の手を取つて：  
自分のおっぱいに  
導いてあげて…

どつぶん

そんなことで  
どうするの…

私たちちは今日一日

彼の恋人：

彼のオンナなのよ…？

彼が望むことであれば  
自分からそれに  
応えてあげなきゃ…：

……!!

ご…ごめんなさい

至らなくて…

わ…私…  
こ…恋人がこんな時  
どうするべきかのか  
まだよくわからんなくて…

……!!

ど…どうか  
揉み比べ：  
して…ください…

ど…どうか  
わ…私のおっぱいも  
触つて…？

あつ…！

むぎゅつ…

どっくん…

やつ…あ…

ふに…

あ…あつ

ふに

どつ  
くん

やつ…んつ…

どつ  
くん

むぎゅつ

ああ…

あ…ふ…

なんだろうこの

満ち足りた

幸せな感じは…

どっこん…

やつ…あつ

両手に感じる…

この心地よい感触は…

こうして…

あ…ふ…

どうくん…

二つのおっぱいを  
おもうがままに  
揉んでいると  
実感する…

やつ…あつ

この二人が

やつ…ん…

この日の前の

二人が…

僕のオシンナ…なんだ…

どうくん…

やつ…あつ

揉み放題…!

おっぱいだつて

手のひらに  
収まらない：

豊満なサイズの張りのある  
杜戸先生のおっぱいよつとよつと

それよりは少し  
小ぶりの：かわいらしい

高崎先生のおっぱい：

ああ…こんな場所で…

思うがままに…

揉み比べして…!

どっくん…

二人の先生のおっぱいを…

なんて幸せな

時間なんだ…!

ど…どうかしら  
わ…私たちの  
おっぱい…

いやあ…  
素晴らしいです…  
もう…どちらも  
揉み心地良くて…

ふに…

むぎゅつ…

どつ  
ん…

ど…どつちが  
好きとか…ある…?

好きな方決めて  
くれても…いいのよ…

どつくん…

…っ

あ…あつ

ふに

どつ  
くん

やつ…んつ…

どつ  
くん

むぎゅつ

いや…ほんとに  
どつちがとか  
ないんですけど…

むぎゅつ…

どつ  
くん…

ふに…

杜戸先生の  
手にあまるサイズのも  
揉みしだき甲斐が  
あって好きだし：

でも高崎先生の  
小ぶりなおっぱいも  
手にすっぽり収まつて  
転がし甲斐があるというか…

ちよ：直接

触つてみれば  
もうちよつと  
わかるかもしんない  
ですけどね：

どつぶん：

ふ…服の上からじや  
なく…直接…  
並べて揉んでみたい…

ひくんつ…

ひくんつ…

そ…それは…  
い…いいけど…  
ここで…ふ…  
服脱いじやつたら…

どつくん…

どつくん…

万が一リビングにいる  
二人が出てきたとき…  
誤魔化しようがないわ…

…つ!?

服の上からなら…  
いいわ…よ

…つ!?

代わりに：  
下も…揉んでみる?

どっ  
ん…  
どっ  
ん…

それって  
もしかして…

し…下つて…

ちよつと…  
しゃがんで…  
くれるかしら…?

わ…私たち今から  
す…スカートめくる…から…  
スカートの中…  
た…堪能して…いいわ…よ

そ…それじや今度は  
し…下着の上から…

お…おまんこの  
揉み比べ…  
し…してもらえる  
かしら…?

…つ

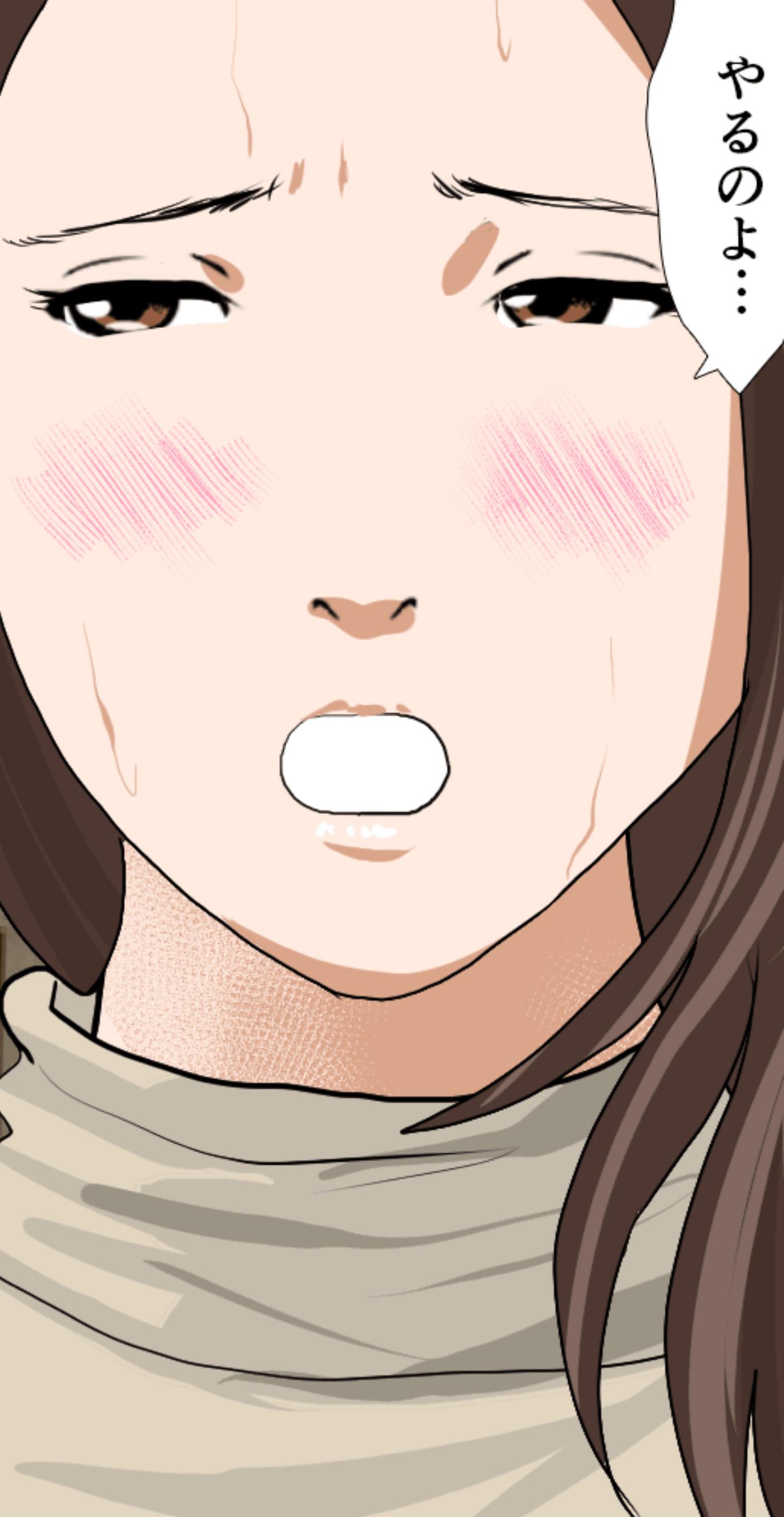
どつくん…

ちょ・つ  
ちよつと・も…

杜戸先生・…！

い・  
何を…つ…  
一體…  
！

やるのよ…



ちゃんと自分の手で  
スカートをめくつて  
彼に中を見てもらうの…



そ…

そんな…

なに…?

どっこいん

どっこいん

だって恋人なら  
彼が「スカートの中見たい」  
って言つたら見せて  
あげるのは当然でしょう?

……

そ…それが…

わ…私たちの…  
うう…ぐぐぐ…つ

も…杜戸先生…!?

ちよ：つ

ちよつと……も…

杜戸先生つ……！

だ…大丈夫ですかつ？

う…うう…つ

杜戸先生：

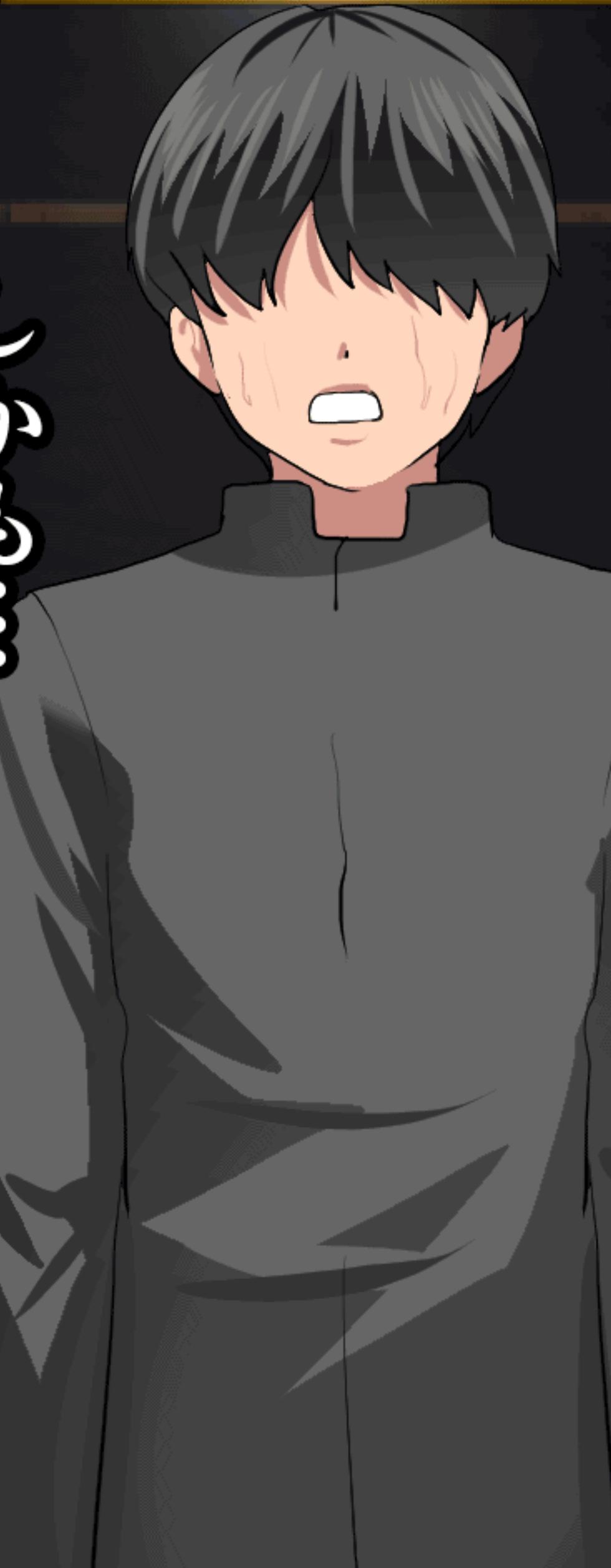
苦しそう…だ…

どつ  
どつ  
くん  
くん

きつと…自分でも  
おかしなことを  
言つてるという理性が…  
どこかで抵抗してるんだ…

しかも…

自分以外の第二者を  
巻き込もうとしている…  
ということに…



だ…大丈夫…よ…  
そ…それより…  
い…いい?

今日はあなたへの  
引継ぎも兼ねた  
大事な…授業…という  
ことを…忘れないで…

…っ!?

生まれて初めて…彼氏ができたばかりで…こんなこと抵抗がある…のね…気持ちはわかるわ…

……

だ…だけど…

これは大事な授業の引継ぎで…私があなたに教えなきゃいけないことなの…

**結局…**  
**そして…**

催眠によつて

認識を変えられた：

彼女は：

教育熱心な

こ…これは  
だ…大事な…  
授業…の引継ぎ…

わ…わかり…  
ま…した…

君?  
じゃ：じゃあ  
い：今から二人で  
す：スカート  
め：めくるから

ちよ：ちよつと  
しゃがんで  
スカートの中…  
見てくれる？



催眠  
教育

じゃ…じゃあ  
失礼して…

どつ  
くん

どつ  
くん



スカートの中を見る…

改めて考えると…  
なんかちよつと  
ドキドキするな…

どっくん…

どっくん…

スカートの中を見る…

改めて考えると…  
なんかちよつと  
ドキドキするな…

どっくん…

どっくん…

は…はい…！

スカートを自分で  
めくつて…  
彼に中を見てもらうの…

め…めくるわよ…？  
いい…？

彼のことは…  
考えちゃダメ…よ…

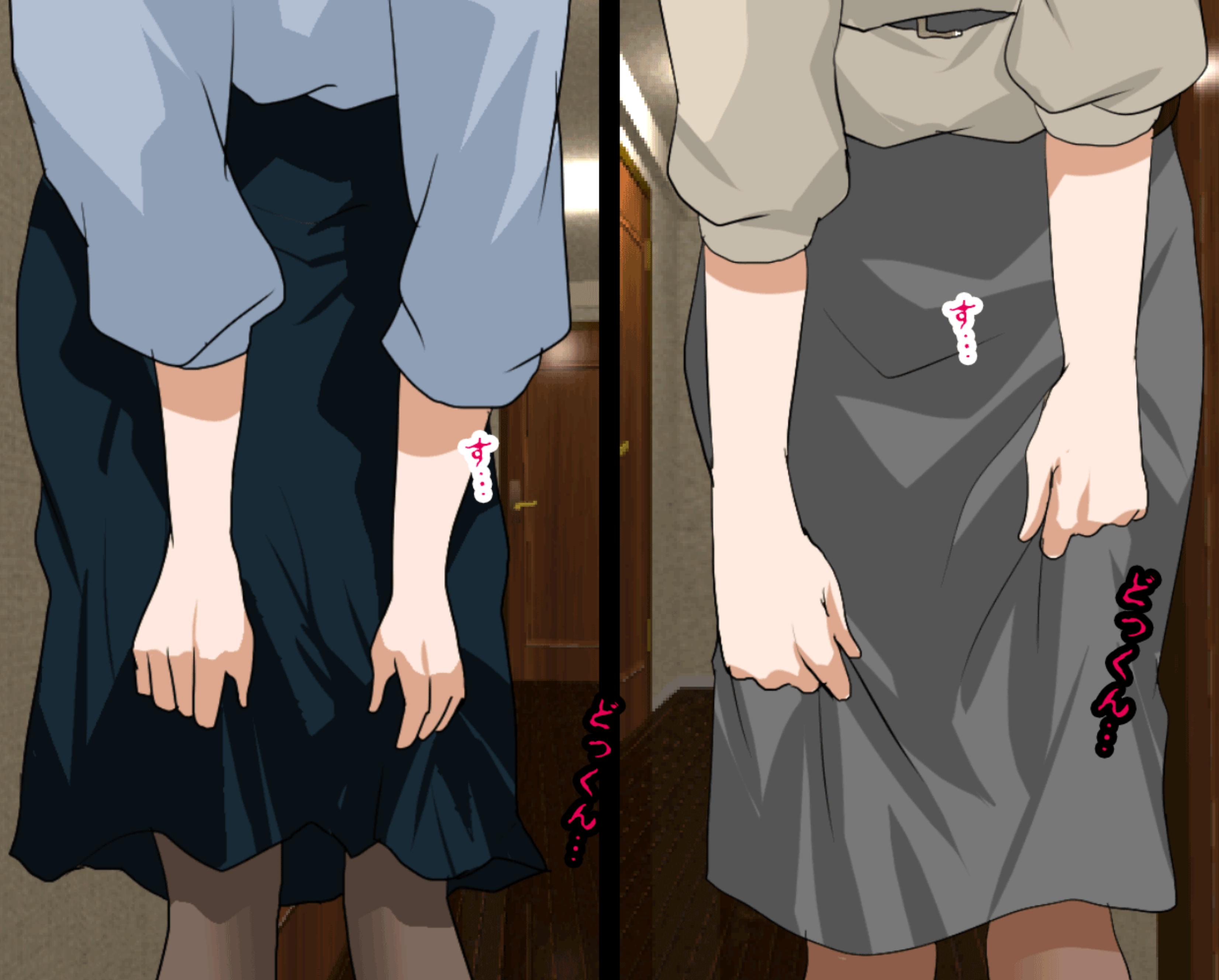
い…今は  
授業にしゅ…  
集中なさい…?

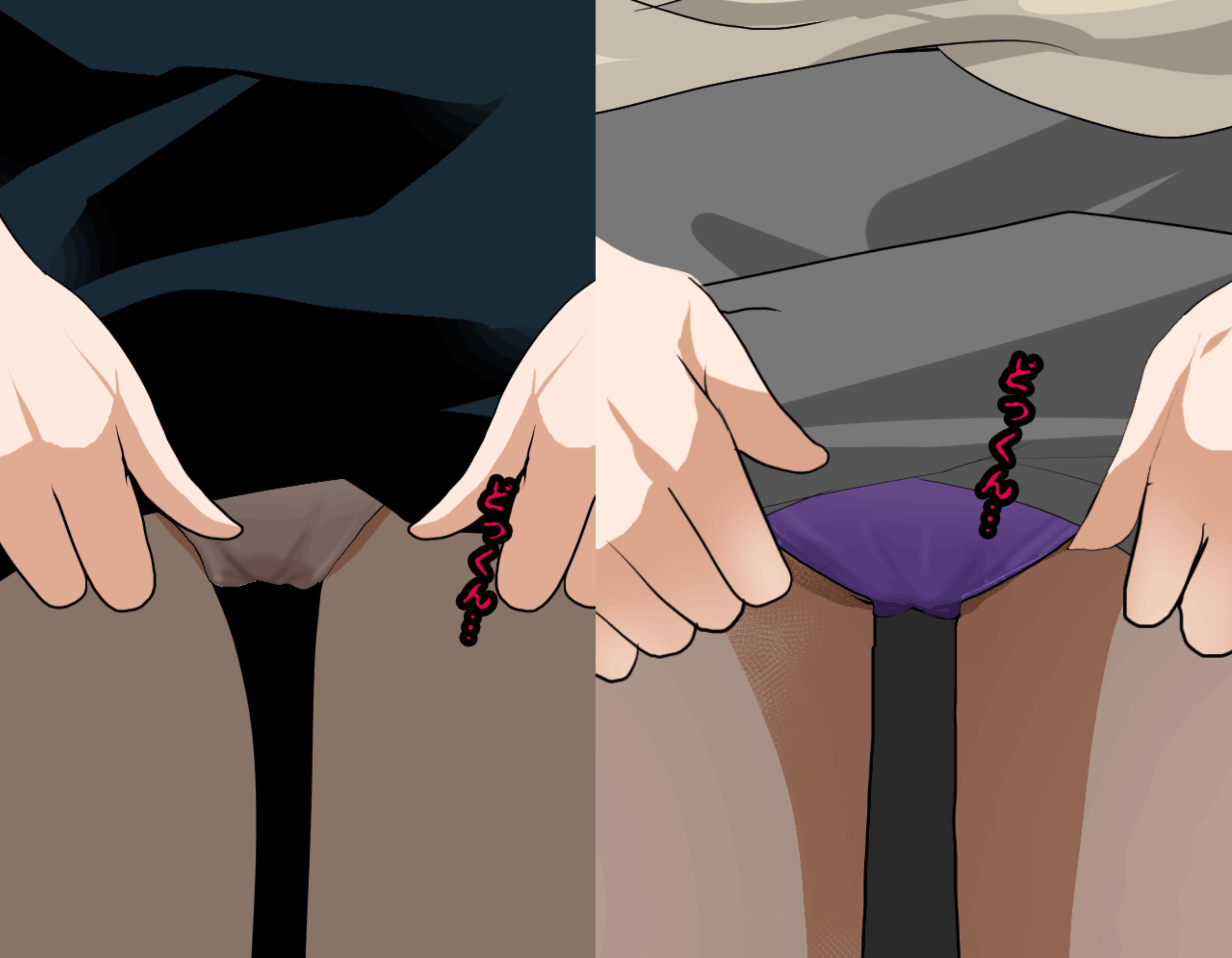
どっくん…

は…はい…!

も…杜戸先生…  
なんだかほんとの  
引継ぎみたいに  
なつてきただ…  
なの

どっくん…





わあ  
。。。

どうくん  
。。。



ああ…

はああ…

どつくん…

どつくん…

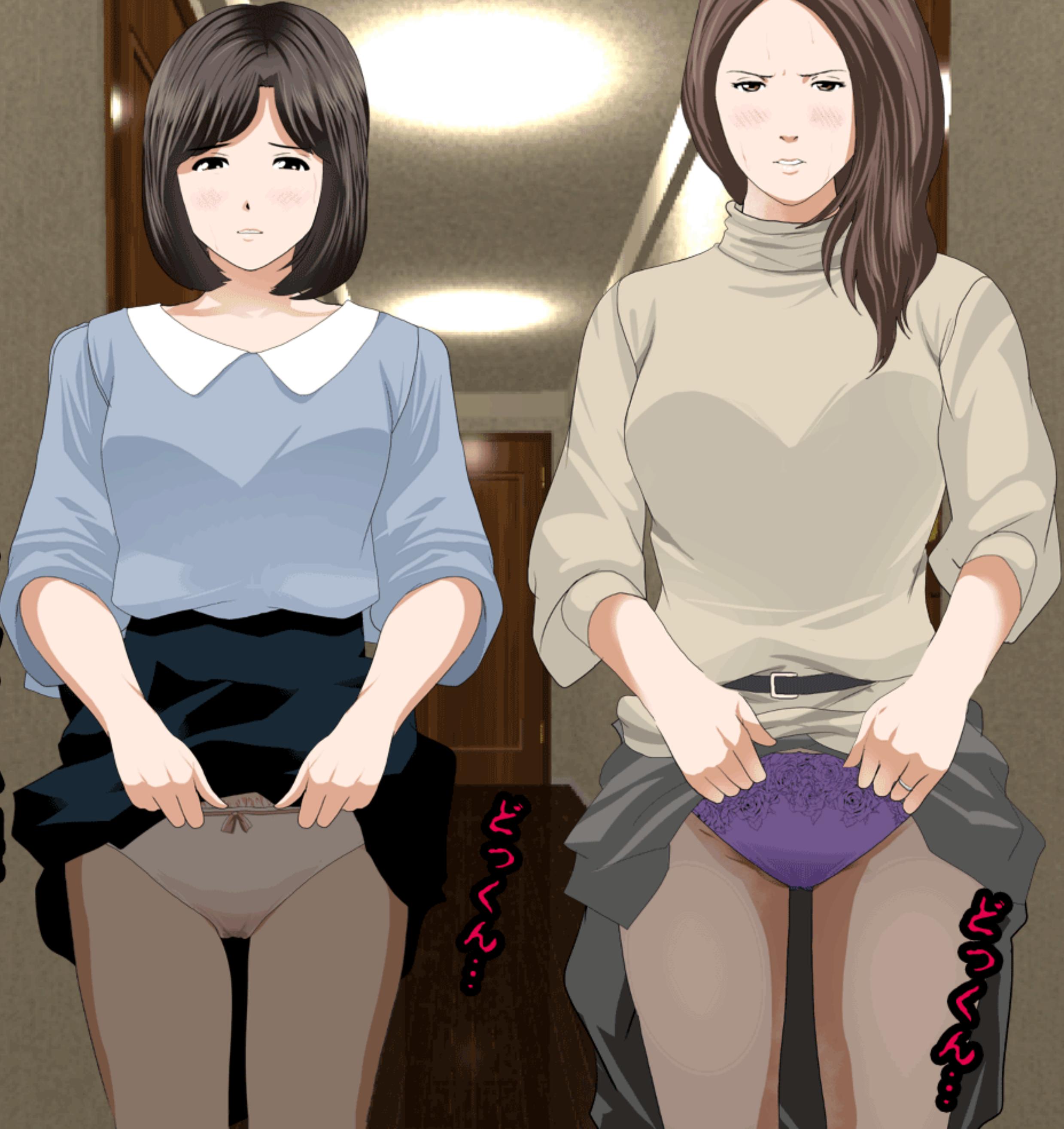
すごい…

どっこん…

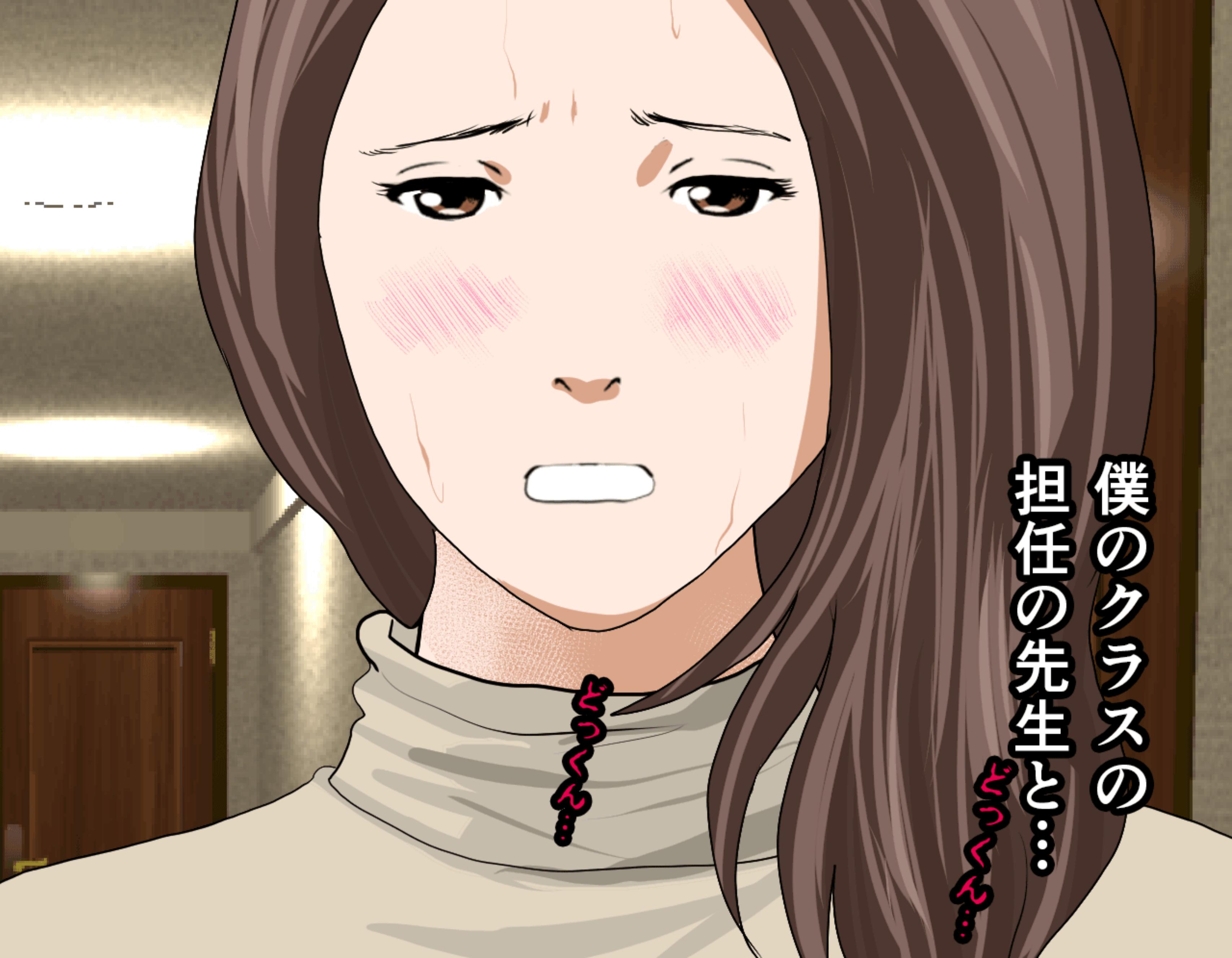
どっこん…

光景だろ…

なんて心躍る…



僕のクラスの  
担任の先生と…  
どうくん



その先生から  
クラスを新し  
引き継ぐ  
新任の先生が…

どつ  
ん

どつ  
く  
ん

二人並んで…

スカートをめくって…

スカートの中を…  
僕に見せてくれていてる…!



どっくん…

どっくん…

勿論：今まで

先生たちともっと  
すごいことたくさん  
してきました：

地味に：いい！  
でもこれはこれで…

た…高崎先生…

可愛らしい下着だ…

つぱり思つた通り

どっくん…

どっくん…

た：高崎先生と

並べてみると：  
やつぱり杜戸先生は  
大人っぽい下着  
なんだな…

改めて気づく…

うう……う……  
み……見られて……ます……

どつ  
くさん

どつ  
くさん

か……彼にも……  
まだ見せたことがない……  
す……スカートの中身を……

こ……こんなの……

た：耐えるのよ…

高崎先生つ…

こ…これは  
教育なの…！

彼に性的興奮を  
覚えてもらうために  
必要な授業の  
過程…！

い…いい?

こ…これから

彼に…し…下着の上から

お…おまんこを

触つてもらつて…

さ…さつきの

おっぱいみたい

触り比べ…

し…してもらうわ…

…!  
…!

……つ

私たちから  
お願ひして…  
さ…触つてもらうのよ…

も…もちろん  
教育ですから  
か…彼の方から  
無理矢理するんじや  
なくて…

い：いい機会だから

高崎先生：

あなたの方から  
お願ひして  
みましようか

「私たちのおまんこ…  
触りくらべ：  
してください」

と：

どつくん

どつくん

そ……そんなんつ……

む……無理です！

そんなこと……  
言えない……つ……！

そ…そんなことで  
どうするの…?

あなた…これから  
教師になるんでしょ

どつ  
くん

一人の生徒の  
授業も…叶わないで…  
この先…何十人の生徒と…  
うまくやつていける?

で…でも…つ

うううううう…

パパ…ママ…  
ごめんなさい…

…あ…あの…

そして…

教育熱心な…

新任の先生は…



僕に向かつて…  
口を開き始めた…

どうくん…

さわって…

さわって…  
あ…あそこを…

さわって…

は…はい？

な…なんですか？  
よく  
聞こえませんでした  
けど…？

だ…ダメよ…  
そんなんじや…！

ちゃんと  
どこをどうしてほしいのか  
具体的に言わないと…！  
生徒が迷ってしまうわ！

おねがいします！

し…下着の上から…

お…おま…おまんこを

さ…触つてくださいっ…！

そしてさつきの  
おっぱいみたいに  
さ：触り比べ  
してくださいっ！

今…何か  
聞こえませんでしたか？

…?

えつ…？そ、そうですか？

わ：私には特に何も…

でも仕事のことでも大事な話があるって言つてましたから話しこんでるんじやないでしようか？

そうか：  
そうですね

ちょつと…  
頼むわよ…！

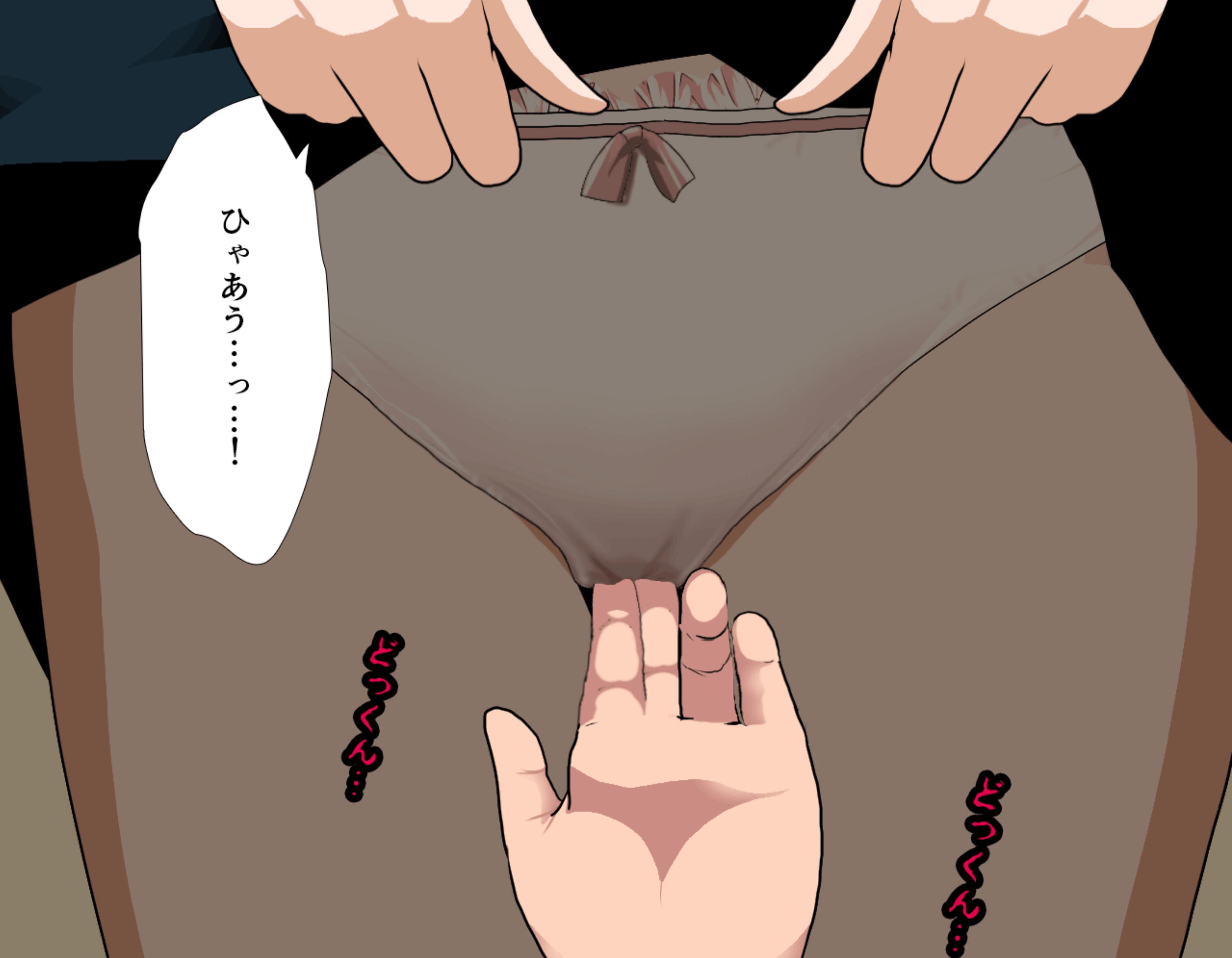
もし彼が今  
勘づいたりして  
その扉開けて  
行ったら：  
わたしにどうやって  
止めればいいのよ：

い…いきます…

は…はいっ…  
お…お願…い…  
しま…すつ…!  
どひくん  
じくん

ひやあう……っ…!





ひやあう…っ…!



下着の上から：  
私の大切な場所…

どっくん



やだ：ほんとに  
触られてる！

どっくん

やあ……あ……

あああ…：

そう…いいわ…

まだ彼氏にも  
触られたことが  
ないそういうから…  
やさしく…  
最初はしてあげてね…

ほら…私のあそこも…  
休まないで…触つて…

二人とも  
あなたの恋人なのよ…  
公平に扱つて  
くれなきや…  
怒つちやうから…

やつ…あ…  
あ…ん…

そうよ：  
ちゃんとふたりの  
おまんこを触り比べてね…

下着越しでも：  
もうわかるでしょ？  
この布の向こうが  
どうなっているのか…

指で…感じて…  
ちゃんと  
箇所を責めるの…

やあ……あ……

あああ……

あつ  
……やつ



やあ…あ…

あああ…

あつ  
…やつ

ひい…い…

ああ…

そんな…  
こんなのがつて…  
こんな…ところ…  
男の人には  
触られるなんて…

い…いい経験だわ…  
じょ…女性は  
男性にこうして  
お…おまんこを  
愛撫してもらう  
もの…なのよ…

で…でも…  
彼はさつき  
初めて話をした  
ばかりの…男性…  
なのに…

か…彼にも…  
まだ…なのに…!

な：何言つてるの

わ：私や

紫藤先生も

もう彼に

何度も…さ…

触られてるんだから…！

そ：それが  
教師として性教育に  
携わるのなら当然の  
義務：でしょ：

…！

どうしん…

どうしん…

えつ…し…

紫藤先生がつ…！？  
そ…それって…！

い：一體  
せ：先生たちは…  
今まで：  
なにを…つ

ああ…いやあ…  
ああ…

どつぐん

どつぐん

と…とはいえ…

く…屈辱的…  
…だわ…！

ま…前にも感じたけど…  
な…なんか…

こ…こうして…  
女性二人並んで…  
お…おまんこ…  
触られてるのって…

ま…前にも  
感じたけど…

じ…自分たちが  
なんだか  
男性の慰みモノに  
なつて感じがして…  
屈辱的なよね…  
こういうのって…！

彼の性欲を  
満たすために…  
存在する…  
まるでモノ扱い…

女性にとつて  
こんな屈辱的な  
ことはない…のに…!

いやあ壯觀だなあ：  
やつぱり…

前にも  
教室で  
紫藤先生と二人  
こういうこと  
させてもらつたけど

どつくん  
今日会つたばかりの  
女性にもこんなこと  
してゐるなんて思うと…  
また格別だね：

えつ…！

ご…ごめんね…  
た…高崎先生…つ

こ…こんなことに  
巻き込んでやつて…  
せ…先輩として  
ま…守れなくて…  
ごめんなさい…つ

んつ…  
ああ…

やつ…あつ…!

やあ……あ…

そ……それにしても…  
な……なんだか…

あつ  
…やつ

杜戸先生は…きっと  
このへん…だと思う

ああつ…！  
んつ…！

穴のビラビラに  
沿つて…指を  
這わせて…

ここが…先生の  
おまんこ…

やつ…ああ

やあ…高崎先生も  
ここだろうな…  
この柔らかいとこ…  
下着の上からでも  
わかるよ

やあ…あ…

あああ…

あつ  
…やつ

こんな状況下で…  
わたし…感じてる…?  
そんな…!

いや…ちがう…  
か：彼の触り方が…  
上手くなってる…  
んだわ…！

正確に：

私の性器にそつて  
指を這わせてくる…！

ああっ…！

明らかに  
女性を感じさせようと  
する指の動き…

ぬちゅ…

ぬちゅ…

こんなの…  
しょ：処女の子が  
されたら…

やつ…ああ

ぬちゅる

ぬちゅ…

とつぶん

ああ…彼女…

彼氏より先に…

か…開発されちゃう

わ…！

なんて酷い…でも…

高崎…先生…

わ…私には  
どうすることも…

ああ…

あつ  
…やつ

ふふ…わかる…

二人とも  
湿ってきてる…！  
感じてきてるんだ…！

杜戸先生に至つては  
もうぐつしょり  
塗れ濡れ…だ…！

やあ……あ……

二人の学校の先生が…  
僕の指の動きで…

あああ…

どっくん…

気持ちよくなつて

どっくん…

あそこを

濡らしててるんだ…

あつ  
…やつ

すごいや…!

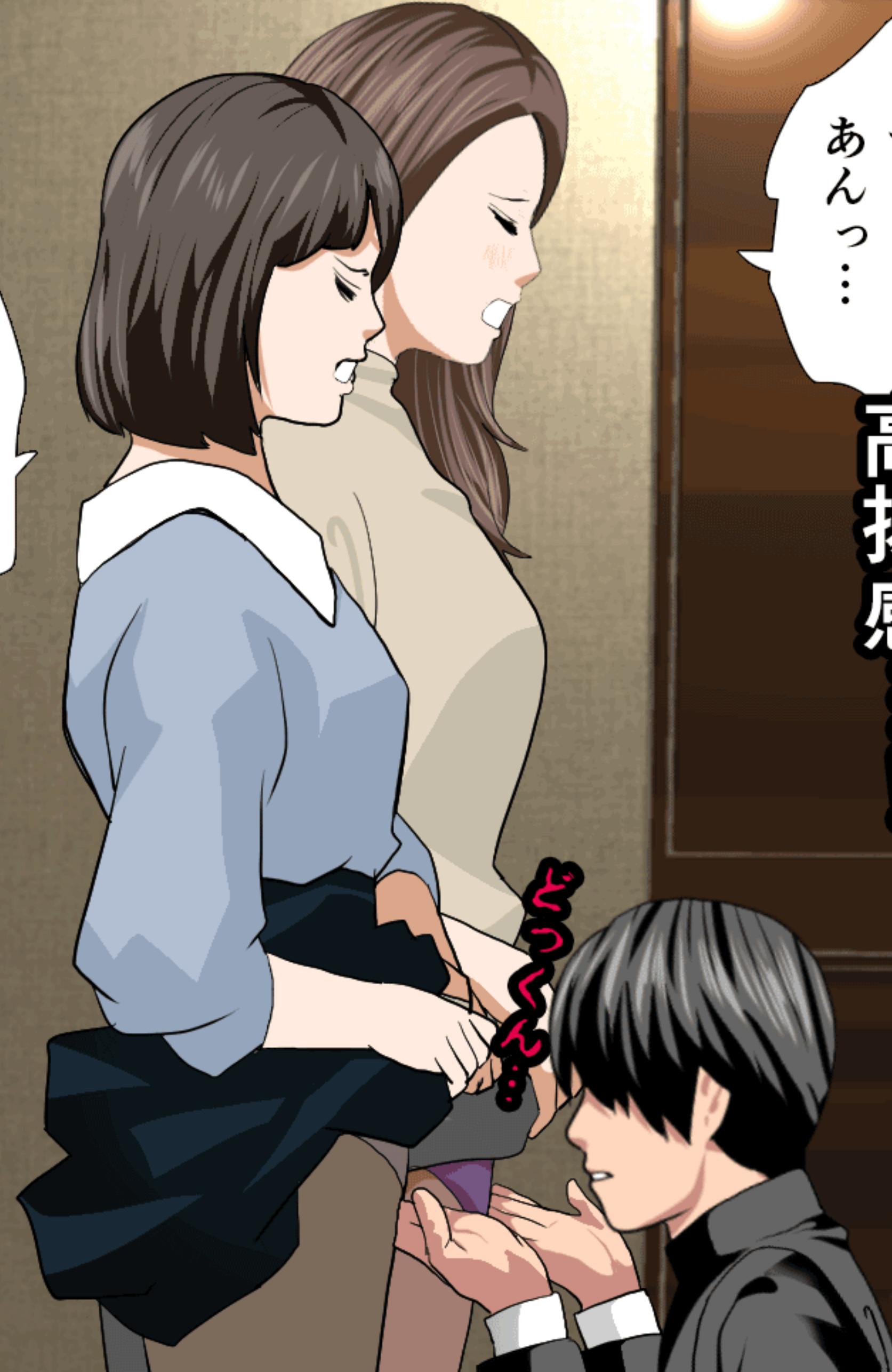
なんだろうこの

高揚感…!

やつ…  
あんつ…

ああつ…  
んん…つ

幸せな  
気持ちは…!  
このワクワクする



た…高崎先生…  
ど…どうですか？

ああ…

か：彼氏にも  
触られたこと  
ないんでしょ？  
これが：おまんこの  
気持ちよさです…よ…！

うう…

く…口が勝手に…！  
ご…ごめんなさい…！

だ…ダメよ！  
か…彼が聞いたら  
ちゃんと答えて…  
あげなきゃ…！

せ…生徒の  
し…質問なのよ…！

…

んつ…  
あんつ…！

あつ…や…

やつ…ああ

もみ…

もみ…

どつぐん

気持ちよかつたら  
いいのよ…ちゃんと  
彼に応えてあげて…

ああつ…!  
んつ…!

もみ…

もみ…

た…高崎先生…  
どう?  
男性の手による  
愛撫…

どつぐん

やあ……あ…

応えにくそうに

していいる高崎先生に  
すかさず杜戸先生から  
フォローがはいり・：

あああ…：

ほらほら  
もうぐつしょり  
下着が濡れて  
きてますよ  
高崎先生…！

どんな感じなのか  
教えてくださいよ！

ふふ…しょ…  
処女の高崎先生からも  
ぜひ聞きたい…

僕の…  
オンナの気持ちよさを  
感じさせられてる  
事実を…

先生の口から…

また高崎先生から  
**卑猥な言葉を**  
**聞き出してやろう…**  
そう思つていた

そんな時…！

うう…うつ…



なつ  
なつ  
なつ  
なつ  
!?

うつ…

うええ…えつ…



高崎…せ…

たつ…

…つ！

どつこひん…

ひつ…つく…

ひつ…

…!

うえええ…



だ…だつて…  
だつて…この身体は…

うえええ…

初めての人について…

ひつく…

こ…こんなの…  
やだ…！

ひっく…

うええつ  
ひっくつ…

…っ！

体験版は以上になります！

続きはぜひ本編で  
お楽しみください…！